平成25年12月25日発行（隔月一回25日発行）

Circulation Journal　第78巻1号　付録（通巻第134号）

日本循環器学会
会告

Contents

1 「準会員」制度　開始のご案内
2 第78回一般社団法人日本循環器学会社員総会のご案内
3 第78回日本循環器学会学術集会
- ●プレレジストレーションのお知らせ
- ●プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題要項
- ●学術集会問い合わせ先のご案内
- ●チーム医療セッション（旧：コメディカルセッション開催要項）
- ●関連会合開催申込みについてのご案内

30 編集委員長からのメッセージ
33 循環器専門医制度
- ●2013年度以降の「循環器専門医」受験申請者・研修施設・研修関連施設の指導責任者の方へ
- ●専門医認定更新の手続きについて
- ●循環器専門医認定更新のご案内
- ●専門医認定更新研修の必修化について
- ●重要！！外科系の基本領域資格をお持ちの方へ
- ●「専門医カード」再発行のご案内
- ●循環器専門医カード再発行申請書
- ●その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ

43 地方会・関連学会・研究会情報
- ●専門医研修単位認定学会情報
- ●海外学会情報
- ●その他の学会開催情報
- ●研究助成

48 ACLS 講習会情報
54 映像教材販売のご案内
64 和文論文投稿誌「心臓」のご案内
65 事務局からのお知らせ
- ●登録事項変更届
- ●学会誌 Circulation Journal の送本について

2014
No.1

本誌の内容については、会員限定ホームページでご覧になれます。http://www.j-circ.or.jp/

★次号2014 NO.2は、2月25日発行予定です。

「準会員」制度　開始のご案内

2014年４月１日から「準会員」制度を新たに開始することとなりました.

「準会員」は，主に医師を対象とする「正会員」とは別に，**医師以外の医療業務従事者（例：看護師，臨床工学技士など）を対象とする会員制度です**.

現在「正会員」として在籍いただいている医師以外の方は，「準会員」に会員区分を変更することができます.

会員区分を変更するためには，「今年度までの年会費をすべて完納していること」が条件となりますので，変更をご希望の際は，今一度ご納入状況をご確認ください.

（なお，準会員には変更せず従来どおり正会員として在籍し続けることも可能です.）

申請方法など，詳細につきましては，今後ホームページ・ニュースメールにてご案内させていただきますので，今しばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます.

本件に関するお問い合わせ・年会費の納入状況のご確認につきましては下記まで

一般社団法人日本循環器学会事務局：総務
（TEL: 03-5501-0861 / E-mail: soumu@j-circ.or.jp）

第78回一般社団法人日本循環器学会社員総会のご案内

第78回一般社団法人日本循環器学会社員総会を下記のとおり開催いたしますので，ご案内申し上げます.

記

日時：2014年 4 月18日（金）15時～16時

会場：JP タワー［東京都千代田区］

議長：永井　良三（一般社団法人日本循環器学会代表理事）

（注）　社員（代議員）には，4 月初め頃に社員総会開催の
ご案内（メール・希望者は郵送）を別途お送り致します.

以上

第78回日本循環器学会学術集会(JCS2014)

会　期：2014年３月21日(金・祝)～23日(日)
会　長：永井　良三（自治医科大学学長・東京大学名誉教授）
会　場：東京国際フォーラム，JP タワー，東京商工会議所（東京都）

メインテーマ：情報爆発とネットワーク時代の循環器病学
Cardiology in the information era: from bench to community

1．一般演題(口述，ポスター，Featured Research Session)

2．美甘レクチャー
Molecular Control of Heart Development, Disease and Regeneration
Eric N. Olson（UT Southwestern Medical Center, USA）
座長：矢﨑　義雄（国際医療福祉大学）

3．真下記念講演
Signaling and Gene Expression for Cytokine Activity in Inflammation and Immunity: Contributions to Mecical Science
谷口　維紹（東京大学生産技術研究所）
座長：篠山　重威（社会福祉法人宇治病院）

4．特別講演
1）Harry Dietz（Johns Hopkins University School of Medicine, Institute of Genetic Medicine, USA）
座長：髙本　眞一（三井記念病院）
2）Kenneth Walsh（Boston University School of Medicine, USA）
座長：野出　孝一（佐賀大学循環器内科）
3）Peter Libby（Brigham and Women's Hospital, USA）
座長：上田真喜子（大阪市立大学病理病態学）
4）Christine Seidman（Harvard Medical School, USA ）
座長：小室　一成（東京大学循環器内科学）
5）Stefanie Dimmeler（University of Frankfurt, Germany）
座長：筒井　裕之（北海道大学循環病態内科学）
6）Randall S. Johnson（University of Pennsylvania, USA / University of Cambridge, UK）
座長：下川　宏明（東北大学循環器内科学）
7）E Dale Abel（University of Utah School of Medicime, USA）
座長：代田　浩之（順天堂大学循環器内科学）
8）Bryan Williams（University of Leicester, UK）
座長：檜垣　實男（愛媛大学循環器・呼吸器・腎高血圧内科学）
9）Damien Garcia（University of Montreal, Canada）
座長：四津　良平（慶應義塾大学外科・心臓血管）
10）Saibal Kar（Cedars-Sinai Medical Center, USA）
座長：澤　　芳樹（大阪大学外科学講座心臓血管外科学）
11）Jun Wang（Beijing Genomics Institute, China）
座長：磯部　光章（東京医科歯科大学循環制御内科学）
12）Michel Komajda（Pitié Salpêtrière Hospital, France）
座長：北風　政史（国立循環器病研究センター臨床研究部・心臓血管内科）
13）Gerd Hasenfuss（University of Goettingen, Germany）
座長：室原　豊明（名古屋大学循環器内科）

14）Jidong Fu（Gladstone Institute of Cardiovascular Disease, UCFS School of Medicine, USA）
座長：福田　恵一（慶應義塾大学循環器内科）
15）Elloiot Antman（Brigham and Women's Hospital, USA / Harvard Medical School, USA）
座長：青沼　和隆（筑波大学循環器内科）

5．会長講演

永井　良三（自治医科大学学長・東京大学名誉教授）
座長：矢﨑　義雄（国際医療福祉大学）

6．プレナリーセッション

（1）EBM に基づく冠動脈血行再建：PCI と CABG の協調　（英語）
Coronary Revascularization based on Evidence Based Medicine- Comparing PCI and CABG- reality and ideal
座長：平山　篤志（日本大学循環器内科）
Nico H. J. Pijls（Catharina Hospital, Neatherland）

（2）心不全治療の進歩　（英語）
Progress in heart failure treatment
座長：磯部　光章（東京医科歯科大学循環制御内科学）
Stefan Anker（Charité Campus Virchow-Klinikum, Universitatmedizin Berlin, Gemany）

（3）循環器領域における再生医療　（英語）
Regenerative therapy in cardiovascular field
座長：福田　恵一（慶應義塾大学循環器内科）
小室　一成（東京大学循環器内科学）

（4）循環器診療ガイドラインと日本の EBM～信頼を取り戻すために～　（日本語）
Medical guidelines for the management of cardiovascular diseases and EBM in Japan
—How to restore lost trust—
座長：山崎　　力（東京大学医学部附属病院臨床研究支援センター）
木村　一雄（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター）

（5）ACHD の心不全，不整脈，肺高血圧，突然死の実態と治療　（英語）
Current status and management of cardiac failure, arrhythmias, pulmonary hypertension and sudden death in adults with congenital heart disease
座長：丹羽公一郎（聖路加国際病院心血管センター循環器内科）
Michael A. Gatzoulis（Imperial College, UK）

（6）糖尿病と循環器疾患　（日本語）
Cardiovascular diseases in diabetes mellitus: where are we now?
座長：代田　浩之（順天堂大学循環器内科学）
平田　健一（神戸大学循環器内科学）

（7）我が国における低体温療法と PCI の連携：急性冠症候群の心停止後ケアを循環医の立場で考える　（英語）
Therapeutic hypothermia and percutaneous coronary intervention for acute coronary syndrome complicated by cardiac arrest
座長：長尾　　建（駿河台日本大学病院循環器科，蘇生・救急心血管治療）
David Erlinge（Lund University, Sweden）

（8）循環器病学のトランスレーショナルリサーチ　（日本語）
Translational research for cardiovascular disease
座長：砂川　賢二（九州大学循環器内科）
澤　　芳樹（大阪大学心臓血管外科学）

7．シンポジウム

（1） 冠循環を見直す：心筋虚血の発生機序から評価まで （日本語）
Coronary Circulation Revisited: Pathogenesis of Myocardial Ischemia and Its Evaluation
座長：山岸　正和（金沢大学臓器機能制御学・循環器内科）
下川　宏明（東北大学循環器内科学）

（2） 動脈硬化リスク因子から探る動脈硬化の新しい分子機序 （英語）
Molecular mechanisms linking the coronary risk factors and the development of atherosclerosis
座長：倉林　正彦（群馬大学臓器病態内科学）
Renu Virmani（CV Path Institute, Inc, USA）

（3） Ｊ波症候群とその関連疾患 （英語）
J-wave syndrome and related electrical disorders
座長：新　　博次（日本医科大学多摩永山病院内科・循環器内科）
Sami Viskin（Tel-Aviv Sourasky Medical Center, Sackler School of Medicine, Tel Aviv University, Israel）

（4） 致死性心室性不整脈への非薬物治療 （英語）
Challenges of non-pharmacological treatment of life-threatening malignant ventricular tachyarrhythmias
座長：青沼　和隆（筑波大学循環器内科）
Paolo Della Bella（Arrhythmia Unit and Electrophysiology Laboratories at Ospedale San Raffaele, Italy）

（5） 心不全治療の進歩―内科・外科の集学的アプローチ― （日本語）
Advances in heart failure treatment
―Collaborative approach by cardiologists and cardiac surgeons―
座長：筒井　裕之（北海道大学循環病態内科学）
小野　　稔（東京大学心臓外科）

（6） 心肥大・心不全の新たな分子機序 （英語）
Molecular mechanism for myocardial hypertrophy and heart failure
座長：斎藤　能彦（奈良県立医科大学第一内科）
Gerd Hasenfuss（Georg-August University Göttingen and Heart Center Göttingen, Germany）

（7） 高血圧の EBM （日本語）
EBM in hypertension
座長：檜垣　實男（愛媛大学病態情報内科学）
光山　勝慶（熊本大学医学系生体機能薬理学）

（8） 形態と機能との融合から病態を把握する （日本語）
Fusion Imaging Technology Melding Anatomy and Function
座長：木原　康樹（広島大学循環器内科学）
安武　正弘（日本医科大学総合医療・健康科学分野）

（9） 冠動脈イメージングの最前線 （日本語）
Frontiers of coronary imaging modalities
座長：赤阪　隆史（和歌山県立医科大学循環器内科）
水野　杏一（三越厚生事業団・日本医科大学名誉教授）

（10） 脳梗塞予防のための心房細動の予防・治療戦略 - UPDATE （日本語）
Prevention and treatment of atrial fibrillation for the prevention of cerebral infarction - UPDATE
座長：林　　秀晴（浜松医科大学内科学第三講座）
磯　　博康（大阪大学社会環境医学講座）

（11） 循環器疾患ネットワークとレジストリ （日本語）
Clinical Network and Disease Registry for Cardiovascular Disease
座長：楠岡　英雄（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター）
横山　広行（国立循環器病研究センター心臓血管内科）

（12） 地域医療と医療経済 （日本語）
Community medicine and healthcare economics in cardiology
座長：湊口　信也（岐阜大学循環器内科）
田倉　智之（大阪大学医療経済産業政策学）

（13） ACHD の診療体制の構築：他部門の共同運営と遠隔医療 （日本語）
How should we establish medical care system for patients with adult congenital heart disease in Japan? : an establishment of multidisciplinary team and telemedicine
座長：伊藤　　宏（秋田大学循環器内科学・呼吸器内科学）
白石　　公（国立循環器病研究センター小児循環器診療部）

（14） カテーテル治療における女性医師の勤務状況：現状と課題 （日本語）
Current status and problems of their working conditions for female interventional cardiologists
座長：上田真喜子（大阪市立大学病理病態学）
本江　純子（府中恵仁会病院心臓血管病センター附属イメージング研究所）

（15） CKD の治療戦略：循環器医と腎臓内科医の連携 （英語）
Treatment Strategy of CKD：Collaboration by cardiologists and nephrologists
座長：野出　孝一（佐賀大学内科学）
Claudio Ronco（San Bortolo Hospital, Italy）

（16） 弁膜症治療ニューパラダイムを迎えて （日本語）
New paradigm of the management of valvular heart disease
座長：四津　良平（慶應義塾大学外科／心臓血管）
山本　一博（鳥取大学病態情報内科学）

（17） 肺高血圧症に期待される新しい治療法 （日本語）
New treatment methods expected for pulmonary hypertension
座長：松原　広己（独立行政法人国立病院機構岡山医療センター臨床研究部）
伊藤　正明（三重大学循環器・腎臓内科学）

（18） 末梢血管治療における new trend （日本語）
New trend of treatments for the patients with peripheral artery disease
座長：古森　公浩（名古屋大学血管外科）
南都　伸介（大阪大学先進心血管治療学）

（19） 急性大動脈解離の診断と治療における集学的アプローチ：内科，外科共同の Aorta team に向けて （日本語）
A multidisciplinary approach in the diagnosis and treatment of acute aortic dissection: Towards an “Aorta team” by cardiologist and cardiovascular surgeons
座長：荻野　　均（東京医科大学外科学第二講座（心臓血管外科））
吉野　秀朗（杏林大学第二内科循環器内科）

（20） 喫煙と循環器疾患―あらたな禁煙医療への挑戦― （日本語）
Smoking and Cardiovascular Diseases ― New Challenges in Anti-smoking Interventions
座長：朔　啓二郎（福岡大学心臓・血管外科学）
室原　豊明（名古屋大学循環器内科学）

（21） IT と循環器診療 （日本語）
Application of IT for diagnosis and treatment of cardiovascular disease
座長：伊藤　　浩（岡山大学機能制御学（循環器内科））
橋本　英樹（東京大学臨床疫学経済学）

（22） 網羅的ゲノム研究は循環器病学の臨床をいかに変えたか
―遺伝／臨床／疫学情報のリンケージとその将来― （英語）
How has the comprehensive genomic analysis altered the clinical status of cardiovascular medicine?
― Linkage between the genetic, clinical and epidemiological sciences, and its future perspective ―
座長：北風　政史（国立循環器病研究センター臨床研究部・心臓血管内科）
Christine Seidman（Harvard Medical School, USA）

8．会長特別企画

（1） 我が国の地域医療の新展開にむけて

座長：永井　良三（自治医科大学学長・東京大学名誉教授）
尾身　　茂（自治医科大学／独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構／名誉 WHO 西太平洋地域事務局）
演者：島崎　謙治（政策研究大学院大学）
丸山　　泉（日本プライマリ・ケア連合学会）
堀　真奈美（東海大学教養学部人間環境学科社会環境課程）

（2） アジアからのエビデンス

座長：苅尾　七臣（自治医科大学内科学講座循環器内科学部門）
木村　　剛（京都大学医学部附属病院循環器内科）
演者：塩見　紘樹（京都大学附属病院循環器内科）
山下　武志（心臓血管研究所付属病院）
長尾　　建（駿河台日本大学病院循環器科）
星出　　聡（自治医科大学循環器内科）

（3） 循環器病ナショナルデータベース

座長：小川　久雄（熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学／国立循環器病研究センター）
髙本　眞一（三井記念病院）
演者：友池　仁暢（榊原記念病院）
横山　広行（国立循環器病研究センター（門脇医院））
安田　　聡（国立循環器病研究センター心臓血管内科）
本村　　昇（東京大学心臓血管外科）
香坂　　俊（慶應義塾大学病院循環器内科）

（4） 医療の機能分担と連携

座長：前原　正明（防衛医科大学校外科学講座）
山口　　徹（虎の門病院）
演者：北澤　　潤（厚生労働省医政局医事課）
富永　隆治（九州大学病院心臓血管外科）
伊藤　　浩（岡山大学循環器内科学）
高山　守正（榊原記念病院循環器内科）

（5） ゲノム科学の新展開

座長：油谷　浩幸（東京大学先端科学技術研究センター）
宮野　　悟（東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターDNA 情報解析分野）
演者：油谷　浩幸（東京大学先端科学技術研究センター）
松本　直通（横浜市立大学医学研究科遺伝学）
森田　啓行（東京大学健康医科学創造講座）
宮野　　悟（東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター DNA 情報解析分野）

（6） 公正な臨床研究の進め方

座長：興梠　貴英（自治医科大学附属病院企画経営部医療情報部）
植田真一郎（琉球大学臨床薬理学講座）
演者：興梠　貴英（自治医科大学附属病院企画経営部医療情報部）
植田真一郎（琉球大学大学院医学研究科臨床薬理学講座）
景山　　茂（東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター薬物治療学研究室）
平山　佳伸（立命館大学薬学部）

9．ジョイントシンポジウム

（1） AHA-JCS Joint Symposium

Future prospect of iPS cells and direct induction

座長：福田　恵一（慶應義塾大学循環器内科）
Eric N. Olson（University of Texas Southwestern Medical Center, USA）

演者：Eric N. Olson（University of Texas Southwestern Medical Center, USA）
家田　真樹（慶應義塾大学臨床分子循環器病学講座・循環器内科）
Joseph Wu（Stanford University School of Medicine, USA）
古川　哲史（東京医科歯科大学疾患生命科学研究部）

（2） ACC-JCS Joint Symposium
Imaging modalities to detect vulnerable plaque
座長：赤坂　隆史（和歌山県立医科大学循環器内科）
Jagat Narula（JACC imaging editor in chief, Mount Sinai Hospital, USA）
演者：Jagat Narula（JACC imaging editor in chief, Mount Sinai Hospital, USA）
Farouc Jaffer（Cardiology Division, Corrigan Minehan Heart Center, Massachusetts General Hospital, USA）
野口　暉夫（国立循環器病研究センター心臓内科）
元山　貞子（藤田保健衛生大学循環器内科）
久保　隆史（和歌山県立医科大学循環器内科）

（3） ESC-JCS Joint Symposium（Meet the ESC）
Impact of Coronary Imaging on the Mechanism and Prediction of Acute Coronary Syndrome（ACS）
座長：尾崎　行男（藤田保健衛生大学循環器内科）
Fausto Pinto（Lisbon Univ. Medical School, Portugal）
演者：Fausto Pinto（Lisbon Univ. Medical School, Portugal）
赤阪　隆史（和歌山県立医科大学循環器内科）
村松　　崇（藤田保健衛生大学循環器内科）

10. ラウンドテーブルディスカッション

（1） 心房細動のアブレーション治療
座長：高月　誠司（慶應義塾大学循環器内科）
熊谷浩一郎（福岡山王病院ハートリズムセンター）
演者：桑原　大志（横須賀共済病院循環器内科）
井上　耕一（桜橋渡辺病院不整脈科）
松尾征一郎（東京慈恵会医科大学循環器内科）
山城　荒平（豊橋ハートセンター循環器内科）
藤生　克仁（東京大学附属病院循環器内科）

（2） 冠動脈ステント挿入後の抗血小板療法
座長：中川　義久（天理よろづ相談所病院循環器内科）
阿古　潤哉（北里大学循環器内科学）
演者：田邉　健吾（三井記念病院循環器内科）
上妻　　謙（帝京大学附属病院循環器内科）
森野　禎浩（岩手医科大学内科学講座循環器内科分野）

（3） CRT-D の長期予後
座長：奥村　健二（土岐市立総合病院内科）
因田　恭也（名古屋大学循環器内科学）
演者：安藤　献児（小倉記念病院循環器内科）
朝田　一生（東京大学附属病院循環器内科）
野田　　崇（国立循環器病研究センター心臓血管内科）
加藤　寛之（名古屋大学循環器内科学）
新井光太郎（東京女子医科大学循環器内科）

（4） ワーファリンと新規凝固系阻害薬
座長：山下　武志（心臓血管研究所付属病院）
堀　　正二（大阪府立成人病センター）
演者：堀　　正二（大阪府立成人病センター）
小田倉弘典（土橋内科医院）
鈴木　信也（心臓血管研究所付属病院循環器内科）
後藤　貢士（京都大学付属病院循環器内科）

（5） 心不全における利尿薬の選択
座長：増山　理（兵庫医科大学内科学循環器内科）
安村　良男（大阪医療センター循環器内科）
演者：森　建文（東北大学腎・高血圧・内分泌内科）
小出　雅雄（大阪医療センター循環器内科）
廣谷　信一（兵庫医科大学循環器内科）
絹川弘一郎（東京大学重症心不全治療開発講座）
鈴木　聡（福島県立医科大学循環器・血液内科学講座）

（6） 薬剤性 QT 延長症候群予防の最前線―医薬品の心血管系リスク対策の現状と将来
座長：加藤　貴雄（国際医療福祉大学三田病院）
品川　香（医薬品医療機器総合機構）
演者：千葉　克芳（第一三共研究開発本部葛西研究開発センター安全性研究所）
品川　香（医薬品医療機器総合機構）
杉山　篤（東邦大学薬理学講座）
清水　渉（日本医科大学循環器内科学）

11. トピック

（1） 植込み型 VAD の適応と成績
座長：山崎　健二（東京女子医科大学心臓血管外科）
山本　一博（鳥取大学病態情報内科）
演者：猪又　孝元（北里大学循環器内科）
中谷　武嗣（国立循環器病研究センター移植部）
絹川弘一郎（東京大学重症心不全治療開発講座）
戸田　宏一（大阪大学心臓血管外科）
西中　知博（東京女子医科大学心臓血管外科）

（2） 心臓シミュレーター
座長：杉浦　清了（東京大学新領域創成科学研究科）
中沢　一雄（国立循環器病研究センター研究情基盤管理室）
演者：杉浦　清了（東京大学新領域創成科学研究科）
中沢　一雄（国立循環器病研究センター研究情基盤管理室）
芦原　貴司（滋賀医科大学循環器内科）

（3） 内科と外科のハイブリッド治療
座長：大木　隆生（東京慈恵会医科大学外科学講座）
一色　高明（帝京大学附属病院内科）
演者：林田健太郎（慶應義塾大学循環器内科）
高梨秀一郎（榊原記念病院心臓血管外科）
伊苅　裕二（東海大学循環器内科学）
樋上　哲哉（札幌医科大学心臓血管外科学講座）
金岡　祐司（東京慈恵会医科大学血管外科）
東　信良（旭川医科大学循環・呼吸・腫瘍病態外科学分野血管外科学講座）
原　英彦（東邦大学医療センター大橋病院循環器内科）

（4） 肺高血圧治療の進歩
座長：中西　宣文（国立循環器病研究センター心臓内科）
松原　広己（岡山医療センター循環器科）
演者：大郷　剛（国立循環器病研究センター肺循環科）
桑名　正隆（慶應義塾大学病院リウマチ内科）
波多野　将（東京大学附属病院循環器内科）
溝口　博喜（岡山医療センター循環器科）
南　正人（大阪大学呼吸器外科）

（5） 超高齢者の循環器医療
座長：桃原　哲也（榊原記念病院循環器内科）
岡村　吉隆（和歌山県立医科大学第一外科）

演者：原田　和昌（東京都健康長寿医療センター循環器内科）
有田　武史（小倉記念病院循環器内科）
岡林　　均（岩手医科大学心臓血管外科）
向原　伸彦（兵庫県立姫路循環器病センター心臓血管外科）

（6）　植込み型デバイスの進歩
座長：庄田　守男（東京女子医科大学循環器内科）
中島　　博（板橋中央総合病院循環器科）
演者：庄田　守男（東京女子医科大学循環器内科）
静田　　聡（京都大学附属病院循環器内科）
小島　敏弥（東京大学循環器内科）
奥山　裕司（大阪大学先進心血管治療学寄附講座）
副島　京子（杏林大学循環器内科）

（7）　医師のキャリアパスを広げる
座長：米村　滋人（東京大学法学政治学研究科）
高橋　栄一（アステラス・アムジェン・バイオファーマ株式会社）
演者：今村　恭子（日本製薬医学会）
迫井　正深（厚生労働省老健局老人保健課）
児玉　安司（新星総合法律事務所）

（8）　栄養素と心疾患
座長：E Dale Abel（University of Utah School of Medicine, USA）
足立　　健（防衛医科大学校循環器内科）
演者：E Dale Abel（University of Utah School of Medicine, USA）
石川　義弘（横浜市立大学循環制御医学）
伯野　大彦（防衛医科大学校循環器内科）
佐野　元昭（慶應義塾大学循環器内科）
内野　悠一（東京大学循環器内科）
山下　智也（神戸大学内科学講座循環器内科学分野）

（9）　腎デナーベーション：循環器疾患治療への展開
座長：木村　　剛（京都大学附属病院循環器内科）
市原　淳弘（東京女子医科大学高血圧・内分泌内科）
演者：岸　　拓弥（九州大学先端心血管治療学）
池本　智一（自治医科大学循環器内科）
奥山　裕司（大阪大学先進心血管治療学寄附講座）
森本　　聡（東京女子医科大学内科学（第二）講座）

（10）　睡眠・サーカディアンリズムと高血圧・循環器疾患
座長：前村　浩二（長崎大学循環病態制御内科学）
塩見　利明（愛知医科大学睡眠科）
演者：内山　　真（日本大学精神医学系）
大塚　邦明（東京女子医科大学時間医学老年総合内科）
Mukesh Jain（Case Western Reserve University, USA）
上田　泰己（理化学研究所生命システム研究センター合成生物学研究グループ／東京大学）

（11）　血圧変動性高血圧への治療戦略
座長：石光　俊彦（独協医科大学病院循環器・腎臓内科）
河野　雄平（国立循環器病研究センター生活習慣病部門高血圧・腎臓科）
演者：星出　　聡（自治医科大学循環器内科）
浅山　　敬（東北大学医薬開発構想講座）
甲斐　久史（久留米大学心臓・血管内科）
江本　憲昭（神戸薬科大学臨床薬学）
飯島　勝矢（東京大学高齢社会総合研究機構）

（12）　新規糖尿病治療薬の心血管保護作用
座長：杉山　正悟（陣内病院循環器内科）
代田　浩之（順天堂大学循環器内科学）

演者：綿田　裕孝（順天堂大学代謝内分泌内科学）
北風　政史（国立循環器病研究センター臨床研究部・心臓血管内科）
松原　純一（新別府病院循環器内科）
坂東　泰子（名古屋大学附属病院循環器内科）

（13）組織リモデリングにおける低酸素・代謝シグナル
座長：真鍋　一郎（東京大学循環器内科）
相川　眞範（Harvard University Brigham and Women's Hospital, USA）
演者：青木　浩樹（久留米大学循環器病研究所）
柳田　素子（京都大学腎臓内科学）
武田　憲彦（東京大学循環器内科）
大石由美子（東京医科歯科大学難治疾患研究所細胞分子医学分野）
寺井　崇二（山口大学消化器病態内科学）

12. コントロバーシー

（1）CABG vs PCI（SYNTAX 5 年の成績を受けて）
座長：吉野　秀朗（杏林大学第二内科）
坂田　隆造（京都大学附属病院心臓血管外科）
演者：田邉　健吾（三井記念病院循環器内科）
桃原　哲也（榊原記念病院循環器内科）
小宮　達彦（倉敷中央病院心臓血管外科）
丸井　　晃（京都大学附属病院心臓血管外科）

（2）発作性心房細動に対する薬物療法 vs カテーテルアブレーション
座長：杉　　薫（東邦大学医療センター大橋病院循環器内科）
高橋　　淳（横須賀共済病院循環器センター）
演者：小松　　隆（岩手医科大学内科学講座心血管・特・内分泌分野）
熊谷浩一郎（福岡山王病院ハートリズムセンター）
志賀　　剛（東京女子医科大学循環器内科）
松井由美恵（大阪府済生会泉尾病院循環器内科）

（3）CRT ―わが国における植え込みは十分か不十分か？―
座長：夛田　　浩（福井大学病態制御医学講座循環器内科学）
伊藤　　浩（岡山大学循環器内科学）
演者：坂田　泰史（大阪大学循環器内科学）
安藤　献児（小倉記念病院循環器内科）
瀬尾　由広（筑波大学循環器内科）
西井　伸洋（岡山大学循環器内科）

（4）心房細動：血栓リスクが相対的に低い集団に抗凝固をすべきか否か
座長：是恒　之宏（大阪医療センター臨床研究センター）
井上　　博（富山大学第二内科）
演者：草野　研吾（国立循環器病研究センター心臓血管内科）
高橋　尚彦（大分大学循環器内科・臨床検査診断学講座）
奥村　　謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学）
山下　武志（心臓血管研究所付属病院）

（5）超高齢者高血圧に 140/90mmHg 未満の厳格な血圧管理が必要か
座長：楽木　宏実（大阪大学老年-腎臓内科学）
梅村　　敏（横浜市立大学循環器・腎臓内科学）
演者：楽木　宏実（大阪大学老年-腎臓内科学）
秋下　雅弘（東京大学附属病院老年病科）
田村　功一（横浜市立大学循環器・腎臓内科学）
甲斐　久史（久留米大学心臓・血管内科）
棚橋　紀夫（埼玉医科大学国際医療センター神経内科学）

（6） 大動脈瘤治療：ステントグラフト vs. Open surgery
座長：大北　裕（神戸大学外科学講座心臓血管外科分野）
宮田　哲郎（東京大学血管外科）
演者：加藤　雅明（森之宮病院心臓血管外科）
三井　信介（製鉄記念八幡病院血管外科）
重松　邦広（東京大学血管外科）
明石　英俊（久留米大学外科学）
松田　均（国立循環器病研究センター心臓血管外科）
椎谷　紀彦（浜松医科大学外科学第一講座）

（7） 高齢者の弁膜症治療
座長：高梨秀一郎（榊原記念病院心臓血管外科）
中谷　敏（大阪大学循環器内科学）
演者：倉谷　徹（大阪大学低侵襲循環器医療学講座）
岡林　均（岩手医科大学心臓血管外科）
大倉　宏之（川崎医科大学循環器内科）
泉　知里（天理よろづ相談所病院循環器内科）

13. ミート・ザ・エキスパート

（1） 心臓 MRI/CT の使い方
座長：栗林　幸夫（慶應義塾大学放射線診断科）
佐久間　肇（三重大学臨床医学系講座放射線医学）
演者：野口　暉夫（国立循環器病研究センター心臓血管内科）
木村　文子（埼玉医科大学国際医療センター画像診断科）
元山　貞子（藤田保健衛生大学循環器内科）
北川　覚也（三重大学附属病院中央放射線部）
山田　祥岳（慶應義塾大学放射線診断科）

（2） 心臓リハビリテーションの実際
座長：後藤　葉一（国立循環器病研究センター循環器病リハビリテーション部／心臓血管内科）
長山　雅俊（榊原記念病院循環器内科）
演者：齊藤　正和（榊原記念病院理学療法科）
白石　裕一（京都府立医科大学循環器内科）
牧田　茂（埼玉医科大学国際医療センター）
後藤　葉一（国立循環器病研究センター循環器病リハビリテーション部／心臓血管内科）

（3） 血管内皮機能測定の意義
座長：東　幸仁（広島大学原爆放射線医科学研究所）
山科　章（東京医科大学第二内科）
演者：東　幸仁（広島大学原爆放射線医科学研究所）
高瀬　凡平（防衛医科大学校病院集中治療部）
杉山　正悟（陣内病院循環器内科）
冨山　博史（東京医科大学内科学第二講座）

（4） マルファン症候群に代表される遺伝性大動脈疾患の診断
座長：平田　恭信（東京逓信病院）
森崎　裕子（国立循環器病研究センター分子生物学部・臨床遺伝科）
演者：今井　靖（東京大学循環器内科）
森崎　隆幸（国立循環器病研究センター分子生物学部・臨床遺伝科）
大北　裕（神戸大学外科学講座心臓血管外科分野）
齋藤　正寛（東北大学口腔修復学講座歯科保存学分野）

（5） QOL を考慮した新しい補助人工心臓の適応
座長：許　俊鋭（東京都健康長寿医療センター）
中谷　武嗣（国立循環器病研究センター移植部）

演者：吉川　泰司（大阪大学心臓血管外科）
西中　知博（東京女子医科大学心臓血管外科）
加藤　尚子（東京大学重症心不全治療開発講座）
簗瀬　正伸（国立循環器病研究センター移植部）

（6）　心臓デバイス関連感染症の治療
座長：本村　　昇（東京大学心臓外科）
合屋　雅彦（小倉記念病院循環器内科）
演者：庄田　守男（東京女子医科大学循環器内科）
中谷　　敏（大阪大学循環器内科学）
齋藤　　綾（東京大学附属病院心臓外科）
川本　俊輔（東北大学心臓血管外科）
西村　　隆（東京都健康長寿医療センター）

（7）　心臓移植の現場―脳死判定から移植後免疫抑制療法まで―
座長：中谷　武嗣（国立循環器病研究センター移植部）
坂田　隆造（京都大学附属病院心臓血管外科）
演者：戸田　宏一（大阪大学心臓血管外科）
中谷　武嗣（国立循環器病研究センター移植部）
絹川弘一郎（東京大学重症心不全治療開発講座）

（8）　心エコーの進歩
座長：竹中　　克（日本大学板橋病院循環器内科）
赤阪　隆史（和歌山県立医科大学循環器内科）
演者：中谷　　敏（大阪大学循環器内科学）
上松　正朗（関西労災病院循環器内科）
竹内　正明（産業医科大学第２内科学）
林田　晃寛（川崎医科大学循環器内科）
赤石　　誠（北里大学北里研究所病院循環器内科）

（9）　心疾患患者の妊娠出産の管理はどのようにするか
座長：池田　智明（三重大学産科婦人科学）
篠原　徳子（東京女子医科大学循環器小児科）
演者：神谷千津子（国立循環器病研究センター周産期・婦人科）
桂木　真司（榊原記念病院循環器産科）
庄田　守男（東京女子医科大学循環器内科）
照井　克生（埼玉医科大学総合医療センター産科麻酔科）

（10）　先天性心疾患の外科治療の進歩
座長：佐野　俊二（岡山大学心臓血管外科）
村上　　新（群馬県立小児医療センター）
演者：中野　俊秀（福岡市立こども病院心臓血管外科）
太田　教隆（静岡県立こども病院心臓血管外科）
山岸　正明（京都府立医科大学小児医療センター小児心臓血管外科）
金子　幸裕（国立成育医療センター心臓血管外科）
笠原　真悟（岡山大学心臓血管外科）
安藤　　誠（榊原記念病院小児心臓血管外科）

（11）　不全心筋：新しい治療法の模索
座長：室原　豊明（名古屋大学循環器内科）
竹村　元三（朝日大学内科学分野）
演者：塩井　哲雄（京都大学循環器内科学）
井手　友美（九州大学病院循環器内科）
安斉　俊久（国立循環器病研究センター心臓血管内科）
竹村　元三（朝日大学内科学分野）
家田　真樹（慶應義塾大学臨床分子循環器病学講座・循環器内科）

14. モーニングレクチャー

（1） 循環器領域における放射線被ばく管理
座長：庄田　守男（東京女子医科大学循環器内科）
演者：山下　尋史（東京大学附属病院循環器内科学）

（2） 増え続ける成人先天性心疾患患者にどう対応するか？
座長：山岸　敬幸（慶應義塾大学小児科）
演者：八尾　厚史（東京大学付属病院保健・健康推進本部）

（3） 右心不全をどう診るか？
座長：福本　義弘（久留米大学内科学講座心臓・血管内科部門）
演者：猪又　孝元（北里大学循環器内科学）

（4） ステージD心不全における包括的治療の未来
座長：竹石　恭知（福島県立医科大学循環器・血液内科学講座）
演者：坂田　泰史（大阪大学循環器内科学）

（5） バソプレシンと心不全治療の新展開
座長：増山　　理（兵庫医科大学内科学循環器内科）
演者：絹川弘一郎（東京大学重症心不全治療開発講座）

（6） TAVIの適応は広がるか？
座長：桃原　哲也（榊原記念病院循環器内科）
演者：林田健太郎（慶應義塾大学循環器内科）

（7） 心臓再生医療の現状と新展開
座長：長谷部直幸（旭川医科大学内科学講座循環・呼吸・神経病態内科学分野）
演者：清水　達也（東京女子医科大学先端生命医科学研究所）

（8） 運動療法と和温療法の進歩
座長：宮内　克巳（順天堂大学循環器内科）
演者：宮田　昌明（鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学）

（9） 新規抗凝固薬の使い方
座長：松本　万夫（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科）
演者：山下　武志（心臓血管研究所付属病院）

(10) 失神の鑑別診断と治療
座長：中井　俊子（日本大学内科学系循環器内科学分野）
演者：安部　治彦（産業医科大学不整脈先端治療学）

(11) 特発性心室細動の病態と治療
座長：豛田　　浩（福井大学病態制御医学講座循環器内科学）
演者：清水　　渉（日本医科大学内科学(循環器内科)）

(12) 冠動脈CTの評価ポイント
座長：船橋　伸禎（千葉大学附属病院循環器内科）
演者：平野　雅春（東京医科大学病院循環器内科）

(13) 非心臓手術の術前評価と周術期管理
座長：川名　正敏（東京女子医科大学附属青山病院循環器内科）
演者：原　　和弘（三井記念病院内科）

(14) 造影剤腎症の予防と対策
座長：長田　太助（自治医科大学腎臓内科）
演者：阿部　　充（京都医療センター循環器内科）

(15) ACE阻害薬の特徴と意義
座長：石光　俊彦（獨協医科大学循環器・腎臓内科）
演者：吉村　道博（東京慈恵会医科大学循環器内科）

(16) 生物統計
座長：三浦　俊郎（徳山中央病院総合診療内科）
演者：飯室　　聡（東京大学附属病院臨床研究支援センター中央管理ユニット）

(17) 急性左心不全の治療
座長：矢野　雅文（山口大学器官病態内科学）
演者：佐藤　直樹（日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科）

(18) 脳卒中・認知症予防のための高血圧治療
座長：大屋　祐輔（琉球大学循環器・腎臓・神経内科学）
演者：松本　昌泰（広島大学脳神経内科学）
(19) 睡眠呼吸障害の診断と治療
座長：萩原　誠久（東京女子医科大学循環器内科）
演者：百村　伸一（自治医科大学附属さいたま医療センター循環器科）
(20) 我が国の循環器疾患とリスク因子の時代変遷
座長：奥村　　謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学）
演者：清原　　裕（九州大学環境医学分野）
(21) 心血管病のバイオマーカー
座長：河野　雅和（香川大学循環器腎臓脳卒中内科）
演者：鈴木　　亨（東京大学循環器内科・ユビキタス予防医学講座）
(22) HFpEF の診断と治療
座長：山本　一博（鳥取大学病態情報内科）
演者：大門　雅夫（東京大学附属病院検査部・循環器内科）
(23) 心外膜アブレーション
座長：三田村秀雄（立川病院）
演者：副島　京子（杏林大学循環器内科）
(24) DPP-4 阻害薬の心血管保護
座長：久留　一郎（鳥取大学再生医療学）
演者：綿田　裕孝（順天堂大学代謝内分泌内科学）
(25) 冠動脈内イメージングの進歩
座長：本江　純子（府中恵仁会病院心臓血管病センター附属イメージング研究所）
演者：赤阪　隆史（和歌山県立医科大学循環器内科）
(26) 次世代ステント
座長：山岸　正和（金沢大学医薬保健研究域医学系臓器機能制御学・循環器内科）
演者：阿古　潤哉（北里大学循環器内科学）
(27) 頸動脈狭窄の治療の進歩
座長：三浦　哲嗣（札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座）
演者：伊苅　裕二（東海大学内科学系循環器内科学）
(28) 心臓のアンチエイジング
座長：南野　　徹（新潟大学循環器内科）
演者：森下　竜一（大阪大学臨床遺伝子治療学）
(29) 2014年の時点でみる「たこつぼ心筋症」の問題点
座長：川嶋成乃亮（大阪府済生会中津病院総合診療内科）
演者：河合　祥雄（順天堂大学循環器内科）
(30) 心臓 MRI の有用性
座長：久保田　功（山形大学第一内科）
演者：寺島　正浩（心臓画像クリニック飯田橋）

15. Late Breaking Clinical Trials(公募)

16. Late Breaking Cohort Studies(公募)

17. 第42回循環器教育セッション

教育セッションⅠ
ビデオセッションⅠ-1　心房細動アブレーションの進歩
座長：沖重　　薫（横浜市立みなと赤十字病院心臓病センター）
　　奥村　　謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学講座）
演者：Marc Dubuc（Montreal Heart Institutes, Canada）

ビデオセッションⅠ-2　大動脈ステントグラフト
座長：吉川　公彦（奈良県立医科大学放射線科）
荻野　　均（東京医科大学心臓血管外科）
演者：松田　　均（国立循環器病研究センター心臓血管外科）
加藤　雅明（森之宮病院心臓血管外科）
阪口　昇二（松原徳州会病院放射線科）
ビデオセッションⅠ-3　ASD
座長：赤木　禎治（岡山大学病院循環器疾患集中治療部）
河村　朗夫（慶應義塾大学循環器内科）
演者：矢崎　　諭（国立循環器病センター小児循環器科）
河村　朗夫（慶應義塾大学循環器内科）
中川　晃志（岡山大学病院循環器内科）
教育セッションⅡ　Structural Heart Disease に対するカテーテル治療の進歩
座長：高山　守正（榊原記念病院循環器内科）
新浪　　博（埼玉医科大学国際医療センター心臓血管外科）
演者：赤木　禎治（岡山大学病院循環器疾患集中治療部）
鳥飼　　慶（大阪大学心臓血管外科）
小宮山伸之（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科）
原　　英彦（東邦大学医療センター大橋病院循環器内科）
松本　　崇（Heart Institute, Cedars-Sinai Medical Center, USA）
高見澤　格（榊原記念病院循環器内科）
教育セッションⅢ　日常診療における他科との連携
円滑な循環器内科コンサルテーションを考える
座長：山科　　章（東京医科大学第二内科）
前村　浩二（長崎大学循環病態制御内科学）
演者：吉野　秀朗（杏林大学第二内科）
長尾　　建（駿河台日本大学病院循環器科）
神谷千津子（国立循環器病研究センター周産期・婦人科）
是恒　之宏（大阪医療センター臨床研究センター）
安斉　俊久（国立循環器病研究センター心臓血管内科）
西村　眞人（桃仁会病院循環器科）

18. 日本心臓財団佐藤賞記念講演

(学会２日目　３月22日(土)11：10～11：50　第４会場　ホール B7(2))
座長：永井　良三（自治医科大学学長・東京大学名誉教授）

19. 審査講演会

（１） YIA Clinical research 部門審査講演
(学会１日目　３月21日(金) 8 ：30～10：30　第10会場　G502)
座長：小川　久雄（熊本大学循環器内科学／国立循環器病研究センター）
（２） YIA Basic research 部門審査講演
(学会１日目　３月21日(金)13：50～15：50　第10会場　G502)
座長：小川　久雄（熊本大学循環器内科学／国立循環器病研究センター）
（３） 国際留学生 YIA 審査講演
(学会１日目　３月21日(金)10：40～12：40　第10会場　G502)
座長：室原　豊明（名古屋大学循環器内科学）
（４） コメディカル賞審査講演
分野１・分野２
(学会１日目　３月21日(金)13：50～15：50　第17会場　JP タワー ホール1-2)
座長：荒井　秀典（京都大学人間科学系専攻）
三浦稚郁子（榊原記念病院看護部）

分野３・分野４
(学会１日目　３月21日(金)16：30～18：00　第17会場　JP タワー ホール1-2)
座長：伊藤　　浩（岡山大学医歯薬学総合研究科）
田嶋　明彦（埼玉県立大学保健医療福祉学部）

20. 委員会セッション

（１） 国際交流委員会

①海外留学生セミナー
(学会２日目　３月22日(土) ８：30～10：00　第７会場　ホール D1)
座長：室原　豊明（名古屋大学病態内科学講座循環器内科学分野）
演者：
１．アメリカ留学便り：冠動脈病理が循環器内科医に教えてくれるもの
大塚　文之（CVPath Institute, Inc.）
２．家族５人のドイツ留学 ～海外生活の Tips～
品川　弥人（ビュルツブルグ大学）
３．オーストラリア臨床留学―英語試験突破の秘訣と医師登録の現状―
小川　　貢（John Hunter Hospital，心臓胸部外科）

②Meet the ESC Program
１．ESC-JCS guideline session of Heart Failure
(学会２日目　３月22日(土)11：10～12：40　第14会場　G701)
２．TAVI
(学会２日目　３月22日(土)14：40～16：10　第14会場　G701)

（２） 学術委員会

ガイドラインに学ぶ１
2012(2011)-2013年度活動新規ガイドライン作成班報告
(学会１日目　３月21日(金)11：10～12：40　第４会場　ホール B7(2))
座長：筒井　裕之（北海道大学循環病態内科学）
演者：
１．(冠動脈・不整脈を除く)カテーテルインターベンションのガイドライン
中西　敏雄（東京女子医科大学循環器小児科）
２．災害時循環器疾患の予防・管理に関するガイドライン
下川　宏明（東北大学循環器内科学）
３．慢性肺動脈血栓塞栓症に対する balloon pulmonary angioplasty の適応と実施法に関するワーキンググループ
伊藤　　浩（岡山大学機能制御学(循環器内科)）

ガイドラインに学ぶ２
2012年度活動ガイドライン改訂版作成班報告
(学会１日目　３月21日(金)13：50～14：50　第４会場　ホール B7(2))
座長：平山　篤志（日本大学循環器内科）
演者：
１．ST 上昇型急性心筋梗塞の診療に関するガイドライン(2013年改訂版)
木村　一雄（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター）
２．ペースメーカ，ICD，CRT を受けた患者の社会復帰・就学・就労に関するガイドライン(2013年改訂版)
奥村　　謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学）

ガイドラインに学ぶ３
2012年度活動ガイドライン改訂版作成班報告
(学会２日目　３月22日(土) ８：30～10：00　第４会場　ホール B7(2))
座長：青沼　和隆（筑波大学循環器内科）
演者：
１．心房細動治療(薬物)ガイドライン(2013年改訂版)
井上　　博（富山大学第二内科）

2．川崎病心臓血管後遺症の診断と治療に関するガイドライン(2013年改訂版)
小川　俊一（日本医科大学付属病院小児科）
3．冠攣縮性狭心症の診断と治療に関するガイドライン(2013年改訂版)
小川　久雄（熊本大学循環器内科学／国立循環器病研究センター）

ガイドライン解説 1
2011-2012年度活動新規ガイドライン作成班解説講演
(学会 3 日目　3 月23日(日) 8 ：30～10：00　第 4 会場　ホール B7(2))
座長：山科　　章（東京医科大学第二内科(循環器内科)）
演者：
1．序論
山科　　章（東京医科大学第二内科(循環器内科)）
2．内皮機能検査
野出　孝一（佐賀大学循環器内科）
3．脈波速度
宗像　正徳（東北労災病院循環器科）
4．AI／中心血圧
苅尾　七臣（自治医科大学循環器内科学）
5．足関節上腕血圧比
宮田　哲郎（東京大学外科・血管外科）
6．血管機能検査の今後の課題
冨山　博史（東京医科大学第二内科）

ガイドライン解説 2
2011-2012年度活動新規ガイドライン作成班解説講演
(学会 3 日目　3 月23日(日)11：10～12：40　第 4 会場　ホール B7(2))
座長：許　　俊鋭（東京都健康長寿医療センター心臓外科）
演者：
1．植込型 LVAD の適応・適応除外基準
絹川弘一郎（東京大学重症心不全治療開発講座）
2．植込型 LVAD 手術：デバイス選択と植込み手術
小野　　稔（東京大学心臓外科）
3．周術期管理
西村　　隆（東京都健康長寿医療センター心臓外科）
4．在宅安全管理
西中　知博（東京女子医科大学心臓外科）
5．リハビリ・在宅治療・QOL
久保田　香（大阪大学看護部）
6．認定制度・レジストリー・終末期医療
中谷　武嗣（国立循環器病研究センター移植部）

（3） Translational Research 振興事業最終報告会
(学会 3 日目　3 月23日(日)13：50～14：35　第 5 会場　ホール D7)
座長：小室　一成（東京大学循環器内科学）
演者：山下　　潤（京都大学再生医科学研究所／iPS 研究所附属幹細胞医学研究センター
幹細胞分化制御研究領域）

（4） 健保対策委員会
保険医療セミナー
(学会 3 日目　3 月23日(日)13：50～15：20　第 6 会場　東京国際フォーラム　ホール D5)

（5） 心臓移植委員会
第10回心臓移植セミナー「心臓移植ネットワーク登録と補助人工心臓使用の現状と問題点」
(学会 1 日目　3 月21日(金)13：50～15：20　第 9 会場　東京国際フォーラム　G409)
座長：四津　良平（慶應義塾大学外科(心臓血管)）
澤　　芳樹（大阪大学外科学講座心臓血管外科学）

演者：
1．心臓移植レシピエント登録希望者における補助人工心臓使用の現状と問題点
～日本循環器学会心臓移植委員会報告～
西垣　和彦（岐阜大学循環病態学・呼吸病態学・第二内科）
2．日本における小児心臓移植の現状と課題
福嶌　教偉（大阪大学重症臓器不全治療学寄付講座）
3．補助人工心臓治療の現状と問題点
小野　　稔（東京大学心臓外科）
4．植込型と体外式補助人工心臓の使用状況と戦略
藤田　知之（国立循環器病研究センター心臓血管外科）
5．心臓移植へのブリッジとしての植込み型補助人工心臓の現状と問題点
戸田　宏一（大阪大学心臓血管外科）
6．当院における植込み型補助人工心臓治療の現状・実績からみた適応拡大への考察
山崎　健二（東京女子医科大学心臓血管外科）
特別発言：磯部　光章（東京医科歯科大学循環制御内科学）

（6）　医療倫理委員会
第13回医療安全・医療倫理に関する講演会
「医療過誤から新たな医療安全を目指して」
座長：奥村　　謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学）
近森大志郎（東京医科大学第二内科）
演者：
1．医療過誤訴訟の動向と今後のあり方について―法律家の視点から―
飯田　英男（奥野総合法律事務所）
2．医療事故後の再教育と行政指導について
髙本　眞一（三井記念病院）
「COI を管理する」
座長：代田　浩之（順天堂大学循環器内科学）
演者：山崎　　力（東京大学附属病院臨床研究支援センター）

（7）　禁煙推進委員会
第13回禁煙推進セミナー
(学会２日目　３月22日(土)19：00～20：30　第７会場　東京国際フォーラム　ホール D1)
座長：高橋　裕子（奈良女子大学）
瀧原　圭子（大阪大学循環器内科学）
演者：飯田　真美（岐阜県総合医療センター内科・循環器内科）
埴岡　　隆（福岡歯科大学）
阿彦　忠之（山形県健康福祉部）
藤原　久義（兵庫県立尼崎病院，兵庫県立塚口病院）

（8）　循環器救急医療委員会
日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
(学会３日目　３月23日(日)11：10～12：40　第５会場　東京国際フォーラム　ホール D7)
テーマ：循環器救急医療委員会の活動と展望
座長：野々木　宏（静岡県立総合病院）
長尾　　建（駿河台日本大学病院循環器科，心肺蘇生・救急心血管治療）
演者：
1．AED 検討委員会：AED 解禁から10年　～日本における PAD の現状と課題～
石見　　拓（京都大学健康科学センター）
2．蘇生教育小委員会：ガイドライン→BLS/ACLS→ReSS は循環している
菊地　　研（獨協医科大学心臓・血管内科）
3．循環器救急医療制度小委員会：蘇生ガイドラインを日常診療に活かすための制度改革の試み
田原　良雄（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター）

4．蘇生科学小委員会：JCS-ReSS とショックレジストリ
立花　栄三（川口市立医療センター循環器科）

（9） 第12回禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座
(学会２日目　３月22日(土)13：00～16：30　大手町サンケイプラザ(サンケイホール４階))
主　　催：禁煙推進委員会／循環器救急医療委員会
総合司会：野々木　宏（静岡県立総合病院）
禁煙推進公開講座
司会：朔　啓二郎（福岡大学心臓・血管内科学）
海老名俊明（横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター）
1．「らくらく楽しい禁煙講座」
高橋　裕子（奈良女子大学）
2．「PM2.5(微小粒子物質)とタバコ煙！」
藤原　久義（兵庫県立尼崎病院・塚口病院）
3．「禁煙体操」
森山　暎子（一般社団法人10分ランチフィットネス協会・有限会社スタディオ パラディソ）
特別講演
鈴木　大地（順天堂大学，競泳・オリンピックメダリスト）
心肺蘇生法公開講座
1．「AED を含む簡易心肺蘇生法講習」
進行：源河　朝広（横浜旭中央総合病院循環器内科）
菊地　　研（獨協医科大学心臓・血管内科）

（10） 男女共同参画委員会
第４回男女共同参画委員会セッション
(学会２日目　３月22日(土)11：10～12：40　第８会場　G402)
座長：上田真喜子（大阪市立大学病理病態学）
樗木　晶子（九州大学保健学）
演者：上田真喜子（大阪市立大学病理病態学）
富岡　智子（みやざ県南中核病院循環器内科）
石津　智子（筑波大学臨床検査医学）
元山　貞子（藤田保健衛生大学循環器内科）
樗木　晶子（九州大学保健学）
田邊　一明（島根大学内科学第四）

（11） 編集委員会
Circulation Journal Award Session
(学会２日目　３月22日(土)11：10～12：40　第７会場　東京国際フォーラム　ホール D1)
座長：下川　宏明（東北大学循環器内科学）

（12） 学術集会運営委員会
循環器臨床研究助成，留学支援助成　報告会
(学会１日目　３月21日(金)16：30～18：00　第７会場　ホール D1)
座長：山岸　正和（金沢大学循環器内科）
演者：小島　　淳（熊本大学医学部附属病院高度医療開発センター心不全先端医療寄附講座）
苅尾　七臣（自治医科大学循環器内科学）
河野　隆志（慶応義塾大学病院循環器内科）

21. 市民公開講座テーマ(予定)
(学会３日目　３月23日(日)午後　第２会場　東京国際フォーラム　ホール C)
心臓病とともに生きる

22. サテライトセミナー(ランチョンセミナー，ファイアサイドセミナー)：会期中３日間

23. 機器，書籍展示

プレレジストレーションのお知らせ

第78回学術集会では、参加登録、教育セッション、ランチョン・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションを行います。(国内参加者のみ)
第78回学術集会ホームページ「プレレジストレーション」ページからご登録ください。
http://www2.convention.co.jp/jcs2014/index.html
教育セッション、ランチョン・ファイアサイドセミナーのみのプレレジストレーションはできません。

受付期間

参加登録 ▶ 2013年12月2日[月]15:00～2014年2月21日[金]17:00まで

教育セッション ▶ 2013年12月2日[月]15:00～2014年2月28日[金]17:00まで
※参加登録時に合わせてお申し込みください(学術集会本体の参加登録が必須となります)。
追加登録をご希望の場合は、学術集会本体の参加登録完了後、2014年2月28日(金)17:00までにお申し込みください。

ランチョン・ファイアサイドセミナー ▶ 2014年1月22日[水]15:00～2014年2月28日[金]17:00まで
※学術集会のプレレジストレーション完了後に、上記期間内にてお申し込みいただけます。

参加登録費

参加区分	参加費(事前)	参加費(当日)	必要な提示物	配布物	備考
日本循環器学会会員 ※	**15,000円**	20,000円	—	プログラム集 抄録集CD	プログラム集、 抄録CDは事前配布
非会員医師および 医療関係者	**15,000円**	20,000円	—	—	—
コメディカル	当日登録のみ	7,000円	所定の証明書	プログラム集	チーム医療セッション 以外のセッションも聴 講可能
研修医(前期)		無料	所定の証明書	プログラム集	—
学部学生(医学部・薬学部・ 工学部等含む)		無料	学生証	プログラム集	—
海外参加者 (日本からの留学生は除く)		15,000円	—	プログラム集 抄録集CD	—
在日留学生		5,000円	所定の証明書	プログラム集 抄録集CD	—

※参加区分「日本循環器学会会員」の参加費15,000円(当日20,000円)に消費税はかかりません。(不課税)

コメディカル、研修医(前期)、留学生の登録

・プレレジストレーションは「日本循環器学会会員」、「非会員医師および医療関係者」のみを対象とさせていただきます。
コメディカル、研修医(前期)、学部学生、海外参加者、留学生は会期当日に受付を行ってください。
・コメディカル、研修医(前期)、留学生は所定の証明書の提出が必要です。
※証明書の提出がない場合は「非会員医師および医療関係者」当日参加費20,000円をお支払いいただきますので、予めご留意ください。
・証明書は下記ページよりダウンロードしてください。
http://www2.convention.co.jp/jcs2014/japan/prereg/index.html

教育セッション

・参加費は2,000円です。教育セッションは、2014年2月28日(金)17:00までお申し込みが可能です。
・お申し込み後の返金はできませんので、登録の際はご注意下さい。
・教育セッションの内容については下記ページをご参照下さい。
http://www2.convention.co.jp/jcs2014/japan/kyouiku/index.html
※専門医研修単位登録について、プレレジストレーションを行った場合でも、必ず教育セッション会場入口「単位登録受付」での登録が必要です。会期後の単位登録はできませんので、十分ご注意ください。

ランチョン・ファイアサイドセミナー

・プレレジストレーション後に届く「プレレジストレーション完了自動配信メール」に登録内容の確認画面・登録確認書ダウンロード画面のログインURLが記載されております。
・ログイン後、期間内(2014年1月22日(水)15:00～2014年2月28日(金)17:00まで)にお申し込みください。
・プレレジストレーションをされた方のランチョン・ファイアサイドセミナーのチケットは、ネームカードと同時に発行いたします。

専門医研修単位登録

・専門医研修単位登録については、学術集会の会期中に、各単位登録受付にてご登録ください。
※プレレジストレーションを行った場合でも、必ず学術集会会場内「単位登録受付」でのご登録が必要です。
会期後の単位登録はできませんので、十分ご注意ください。

プレレジストレーション登録方法と学会当日までの流れ

学術集会HP「プレレジストレーション」にアクセス
http://www2.convention.co.jp/jcs2014/japan/prereg/index.html

▼

登録画面に必要事項を入力

▼

登録内容を確認後、オンラインにて参加費をお支払い(クレジットカードのみ)

▼

IDとしてご登録のE-mailアドレスに「プレレジストレーション完了メール」が到着
★ご案内の登録確認画面より「登録確認書」をダウンロード・印刷してください。

▼

(1月22日(水)15:00)

▼

ランチョン・ファイアサイドセミナープレレジストレーション開始
★登録確認画面より、参加登録時に使用したIDとパスワードにてログインの上お申し込みください。

(学術集会当日)

学術集会当日は、ご自身でダウンロード・印刷いただいた「登録確認書」をお持ちください。
自動発券機(CARM)より、ネームカード・領収書・教育セッションチケット(お申し込みの方のみ)・ランチョン・ファイアサイドセミナーチケット(お申し込みの方のみ)が発行されます。
※ランチョン・ファイアサイドセミナーをお申し込みの場合でも、登録確認書には参加登録と教育セッションの情報のみが表示されます。

プレレジストレーション時の注意点

◎　プレレジストレーション完了メールの自動配信･その他のご連絡はすべてE-mailで行います。
　　必ず連絡先として使用されるE-mailアドレスをご入力ください。

◎　E-mailアドレスがログインIDとなります。
　　個人情報登録完了メールにログインIDが記載されますので、ご自身で保管してください。

◎　参加登録後の取り消しは、お受けいたしかねます。
　　お支払いいただいた参加登録費は理由の如何に関わらず返金いたしませんので、二重登録にご注意ください。

◎　登録内容に変更がある場合は、下記登録事務局までE-mailまたはFAXの書面にてご連絡ください。

◎　団体登録は受付いたしません。

◎　領収書は、原則、学術集会会期中に発行いたします。

プレレジストレーションに関するお問い合わせ先

第78回日本循環器学会学術集会 参加登録事務局

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-2 興信ビル2F
TEL：03-5283-8898（受付時間：平日10時より17時半まで）
FAX：03-5283-5952
E-mail：reg-jcs2014@convention.co.jp

プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題要項

プレナリーセッション，シンポジウム，一般演題の開催要領は原則として下記の通りです(ただし一部の日本語発表セッションを除く).

1）**プレナリーセッション：**
- 招請外国人による講演(state-of-the-art)を行う．その後，招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表．ただし一部の日本語発表セッションを除く.
- 発表者は各専門領域における各自のデータに加え，現況と将来の方向について講演(オーバービュー)する.
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳をつけます).
- 総合討論は行わない.

2）**シンポジウム：**
- 招請外国人による講演(keynote lecture)を行う．その後，招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表．ただし一部の日本語発表セッションを除く.
- 各自の最先端の研究について発表し，自由な討論を行う.
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳はつけません).

3）**一般演題：**
- 発表者は原則として，応募時に選択した日本語または英語で行う(同時通訳なし).
- 一般演題の発表形式は，以下のように分けられます.
  ① Featured Research Sessions in English(英語発表希望者抄録のうち比較的高得点の演題から構成)
  ② 一般演題口述発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)
  ③ ポスター発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)

- 真下記念講演，トピックス(＊)，コントロバーシー，ミートザエキスパート，ラウンドテーブルディスカッション，モーニングレクチャー，教育セッション(＊)は日本語で行われます.
  ＊一部セッションは英語で行われます.
- 美甘レクチャー，特別講演は英語で行われ，同時通訳付きとなります.

学術集会問い合わせ先のご案内

第78回日本循環器学会学術集会ホームページ **http://www2.convention.co.jp/jcs2013/** を開設しております．演題応募や学術集会プログラムの確認などにご利用ください．本会ホームページからもリンクしております．

1．採否通知

2013年11月29日(金)から，採択された演題の登録番号，採択演題名，筆頭演者名をホームページでカテゴリー別に掲示しておりますので，各自ご確認ください．

2．国内演者の資格

国内演者は，演題応募の時点で共同演者を含む全員が本学会会員(定款施行細則第50条)であり，かつ2013年度会費納入者であることが必要です．未入会の方々には筆頭著者を通じてご案内を行っております．入会については，Web 上での登録をお願いいたします．なお，入会は，入会申込書の提出と入会金2,000円，および2013年度会費15,000円(支部年会費含む)のお振込みをもって完了します．

ホームページ http://www.j-circ.or.jp の「ご入会案内」に入会申込書請求の入力フォームがありますのでご利用ください．

(一社)日本循環器学会事務局
〒100-0011
東京都千代田区内幸町1-1-1
帝国ホテルタワー18F
TEL: 03-5501-0861
FAX: 03-5501-9855
E-mail: admin@j-circ.or.jp

3．演題取り下げについて

演題の取り消しは，会期初日の２ヶ月前(2014/1/21)までに連絡があった場合に限り受理します．以後(2014/1/22～)については，発表業績として取り扱い，取り消しは致しかねます．

4．そ の 他

第78回学術集会のプログラム・運営などに関するお問い合わせは，運営準備室まで E-mail または Fax にてご連絡ください．

第78回日本循環器学会学術集会　運営準備室
(日本コンベンションサービス株式会社)
TEL: 03-3503-5902
FAX: 03-3508-1302
E-mail: jcs2014@convention.co.jp

チーム医療セッション(旧：コメディカルセッション開催要項)

〈チーム医療セッション概要〉

第78回日本循環器学会学術集会では，チーム医療の方を対象としたセッションを会期中に行います．チーム医療の方が中心となる一般演題(口述・ポスター)，ジョイントシンポジウムを含む５つのシンポジウム，そして専門家による５つの教育講演がございます．なお，コメディカル賞(口述)において優秀演題を選定し，学術集会にて表彰いたします．

多数のご参加をお待ち申し上げます．

参加資格

チーム医療スタッフ(看護師，薬剤師，臨床工学技士，臨床検査技師，栄養士，療法士，救急救命士，医療ソーシャルワーカー，その他)

※日本循環器学会の会員でなくても参加ができます．

参 加 費

7,000円(所定の証明書の提示が必要です)

※チーム医療セッション以外の第78回日本循環器学会学術集会のセッションにもご参加いただけます．

教育セッション

１．放射線による人体への影響
　座長：江口　陽一（山形大学附属病院放射線部）
　　中川　義久（天理よろづ相談所病院循環器内科）
　演者：島田　義也（放射線医学総合研究所）
　　菊地　　透（自治医科大学 RI センター）
　　粟井　一夫（榊原記念病院）

２．循環器疾患治療薬の使い方 ～知っておくべき相互作用と重篤な副作用～
　座長：長谷川純一（鳥取大学薬物治療学）
　　渡邉　裕司（浜松医科大学）
　演者：志賀　　剛（東京女子医科大学）
　　加藤　貴雄（国際医療福祉大学）
　　植田真一郎（琉球大学）
　　山本　一博（鳥取大学）

３．不安や抑うつへの対処方法
　座長：伊藤　弘人（国立精神・神経センター精神保健研究所）
　　宇佐美しおり（熊本大学保健学科精神看護学分野）
　演者：伊藤　弘人（国立精神・神経センター精神保健研究所）
　　竹原　　歩（兵庫県立姫路循環器病センター精神科）
　　小林　清香（東京女子医科大学神経精神科）

４．高齢心疾患患者の疾病管理のポイント
　座長：原田　和昌（東京都健康長寿医療センター循環器内科）
　　高橋　哲也（東京工科大学）
　演者：原田　和昌（東京都健康長寿医療センター循環器内科）
　　野出　孝一（佐賀大学循環器内科）
　　弓野　　大（ゆみのハートクリニック）

５．循環器疾患の画像診断の理解
　座長：小林　欣夫（千葉大学医学研究院循環器内科学）
　　梁川　範幸（東千葉メディカルセンター）
　演者：髙岡　浩之（千葉大学循環器内科）
　　井田　義宏（藤田保健衛生大学病院放射線部）
　　松浦　幸広（金沢大学附属病院放射線部）
　　飯森　隆志（千葉大学附属病院放射線部）

シンポジウム

1．[日本遠隔医療学会―日本循環器学会ジョイントシンポジウム]
遠隔モニタリングをいかにチームで活用するか？
座長：酒巻　哲夫（群馬大学附属病院医療情報部）
三浦稚郁子（榊原記念病院看護部）
演者：琴岡　憲彦（佐賀大学循環器内科）
山村　恵子（愛知学院大学薬学部臨床薬剤学）
前田　友未（榊原記念病院）
竹中　祐樹（岡山大学病院循環器内科）
野々木　宏（静岡県立総合病院）

2．[ハートチーム] 再入院予防を目指した心不全患者へのチームアプローチ
座長：佐藤　幸人（兵庫県立尼崎病院循環器内科）
眞茅みゆき（北里大学看護学研究科）
演者：林　亜希子（北里大学病院看護部）
佐々木夏美（東北大学病院看護部）
小西　治美（国立循環器病研究センター心血管リハビリテーション科）
伊東　紀揮（ゆみのハートクリニック）
堀　由美子（国立循環器病研究センター看護部移植部）

3．[日本臨床栄養学会―日本循環器学会ジョイントシンポジウム]
栄養関連指標を用いた心疾患患者の管理
座長：中村　丁次（神奈川県立保健福祉大学）
近藤　和雄（お茶の水女子大学生活環境教育研究センター）
演者：豊政　圭未（国立循環器病研究センター臨床検査部）
鈴木　規雄（聖マリアンナ医科大学循環器科）
佐藤　敦子（仙台オープン病院栄養管理室）
徳永　圭子（せんぽ東京高輪病院栄養管理室）

4．[日本心臓リハビリテーション学会―日本循環器学会ジョイントシンポジウム]
心臓リハビリテーションの新たな評価指標をいかに活用するか
座長：伊東　春樹（榊原記念病院循環器内科）
吉田　俊子（宮城大学看護学部）
演者：山本　壱弥（国立循環器病研究センター心血管リハビリテーション科）
前田　知子（榊原記念クリニック）
松本　泰治（東北大学循環器内科学）
玉木　大輔（昭和大学）
吉田知香子（群馬県立心臓血管センター）

5．[日本医療機器学会―日本循環器学会ジョイントシンポジウム]
循環器診療における医療機器の安全管理体制
座長：安原　　洋（東京大学付属病院手術部）
玉井　久義（虎ノ門病院手術部）
演者：川崎　　誠（済生会横浜市東部病院臨床工学部）
竹内　正人（島原病院）
藤田有希代（国立循環器病研究センター看護部）
柏　　公一（東京大学附属病院医療機器管理部）

コメディカル賞審査講演会

分野１・分野２
(学会１日目　３月21日(金)13：50～15：50　第17会場　JP タワー ホール1-2)
座長：荒井　秀典（京都大学人間科学系専攻）
三浦稚郁子（榊原記念病院看護部）

分野３・分野４
(学会１日目　３月21日(金)16：30～18：00　第17会場　JP タワー ホール1-2)
座長：伊藤　　浩（岡山大学医歯薬学総合研究科）
　　田嶋　明彦（埼玉県立大学保健医療福祉学部）

一般演題(口述・ポスター)

分野１：臨床部門

１．看護(急性期)	４．食事指導・栄養管理
２．看護(慢性期)	５．リハビリテーション・身体活動
３．薬剤・薬物療法	６．心肺運動負荷試験

分野２：チーム医療システム部門

７．事例・症例報告	11. 医療倫理・医療安全
８．患者教育・カウンセリング	12. 医療専門職の教育
９．クリティカルパス	13. 救命救急・災害医療
10. チーム医療	14. その他

分野３：検査部門

15. 侵襲検査・血管内治療(冠動脈)	17. 非侵襲検査・エコー
16. 不整脈・アブレーション	

分野４：治療部門

18. 画像診断(CT.MR.RI)	20. 血液浄化・補助循環・呼吸管理
19. 放射線防護	

関連会合開催申込みについてのご案内

第78回日本循環器学会学術集会の会期中に，会場である東京国際フォーラム他で開催される各種関連会合のお申込みを受付しております.

詳細はホームページに記載いたしますので，ご確認ください.

なお，正式プログラムの実施時間帯においては，関連会合は開催しないことを基本方針としております．ご理解，ご協力をお願いいたします.

申込開始日：2013年11月１日(金)
申込締切日：2014年１月７日(火)正午【時間厳守】

① 11/1(金)～1/7(火) 開催申込み受付

② 2014年１月中旬(予定) 学会会場使用決定後, 関連会合会場決定

③ １月下旬～ 追加手配物の 申込み・変更

④ 3/5(水) 見積書発行・ 手配内容確定

＊詳しくは第78回日本循環器学会学術集会ホームページ
http://www2.convention.co.jp/jcs2014/japan/kanren/index.html をご覧ください.
＊会場に関しては先着順でのご案内とさせていただきます.
室数が限られておりますのでご用意できない場合もございます.
＊2014年３月５日(水)以降のキャンセルにつきましては，キャンセル料として，室料・手配物料金の100％を請求いたします．あらかじめご了承くださいますようお願いいたします.

編集委員長からのメッセージ

Circ J Vol. 78 No. 1 掲載

The *Circulation Journal* in the World

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Dear Colleagues,

On behalf of the editorial team of the *Circulation Journal*, the official journal of the Japanese Circulation Society (JCS), I am pleased to report that the scientific and internationalization levels are steadily increasing. The JCS should represent not only Japan but also countries in Asia and Pacific regions. This would make the position of the *Circulation Journal* in this region equivalent to that of *Circulation*, published by the American Heart Association (AHA), in America and *European Heart Journal*, published by the European Society of Cardiology (ESC), in Europe (**Figure 1**). Indeed, the goal of our editorial team is to enhance the scientific and internationalization levels of the *Circulation Journal*.

1. **The Official 2012 Impact Factor**
   The *Circulation Journal* has earned an official 2012 impact factor (IF) of **3.578**, which places the Journal 33th among the 124 journals in the Cardiac & Cardiovascular Systems category in the 2012 JCR Science Edition (**Figure 1**).

2. **International Editorial Team**
   The editorial team of the *Circulation Journal* consists of 34 Japanese associate editors, 80 Japanese editorial board members, 16 international associate editors, and 27 international advisory board members. All of the international associate editors and advisory board members are internationally recognized cardiovascular researchers, substantially contributing to the enhancing of the Journal's scientific and internationalization levels. I deeply appreciate their valuable contribution to the Journal.

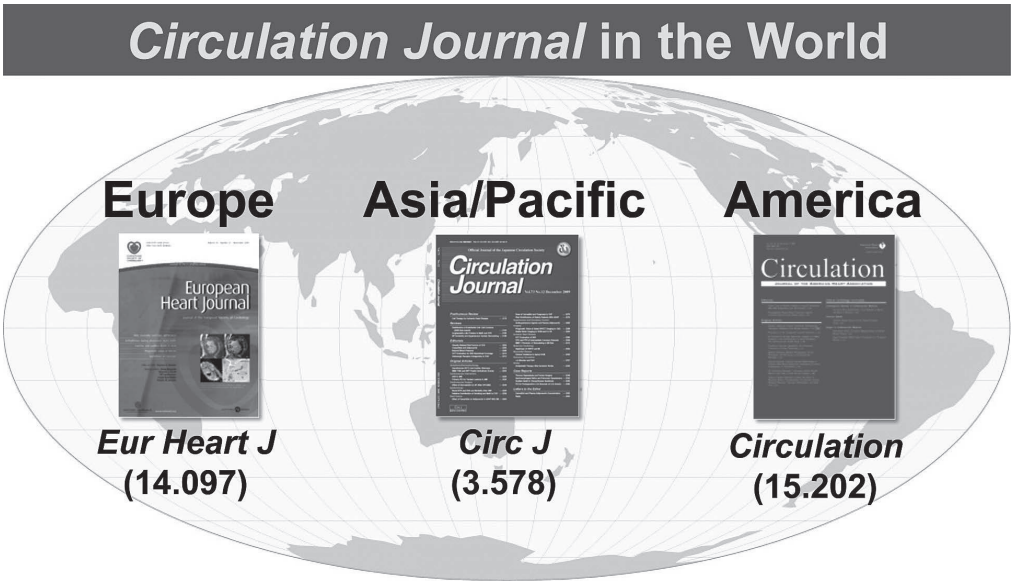


Figure 1. The *Circulation Journal*, the official journal of the Japanese Circulation Society (JCS), should represent the Asia/Pacific region, similar to the *Circulation*, published by the American Heart Association (AHA), in America and the *European Heart Journal*, published by the European Society of Cardiology (ESC), in Europe. Numbers in the parentheses show the 2012 impact factor of the Journals.

Figure 2. For the 2013 International Editorial Board Meeting of *Circulation Journal*, a total of 38 Japanese and foreign associate editors attended and exchanged the opinions how to enhance the scientific and internationalization levels of the Journal. The meeting was very successful. Please visit the homepage of the JCS (http://www.j-circ.or.jp/english).

3. International Editorial Board Meeting

International Editorial Board Meeting was held in Dallas on November 18 during the 2013 AHA annual scientific meeting. A total of 38 Japanese and international associate editors attended and exchanged the opinions how to enhance the scientific and internationalization levels of the Journal (**Figure 2**). The meeting was very successful as many valuable opinions were exchanged in a friendly atmosphere. I was convinced that the internationalization level of the Journal is truly enhancing.

4. Review Series by Internationally Recognized Cardiovascular Scientists

I am pleased to report that in the year of 2014, a total of 51 leading cardiovascular scientists have kindly agreed to write a review article for the *Circulation Journal*. I also appreciate their valuable contribution to the Journal.

5. International Information Service

In addition to our free on-line journal system with the J-Stage, we provide an international e-mail service that informs approximately 6,000 foreign cardiovascular researchers of the contents of the current issue of the Journal every month.

6. Presentation at the Annual Scientific Meeting of Foreign Major Cardiovascular Societies

Each year, during the annual scientific meeting of the major foreign cardiovascular societies, such as AHA, ACC, and ESC, JCS presents a booth where information of *Circulation Journal* is provided for foreign attendees.

Our International Editorial Team would highly appreciate your continuous support and contribution to the *Circulation Journal* in our endeavor to enhance the scientific and internationalization levels of the Journal.

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD
Editor-in-Chief
Circulation Journal

(Released online December 6, 2013)

循環器専門医制度

専門医制度委員会

2013年度以降の「循環器専門医」受験申請者・研修施設・研修関連施設の指導責任者の方へ

【注意!!】循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表の提出が必須となります

第24回(2013年度)循環器専門医試験の受験申請者より「循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表」の提出が必須となります．2013年度以降に「循環器専門医」の受験をご希望の場合は，日本循環器学会認定循環器専門医研修カリキュラムに基づく研修を循環器学会指定研修施設または関連施設にて受験申請までに受講してください．

●受験申請者の方へ

1）研修施設または研修関連施設にて，「研修カリキュラム達成度評価表」に記載されている全ての項目を受験申請時までに修了してください．
2）各項目の修了ごとに指導医(循環器専門医)に署名を依頼してください．
3）所属の施設にて研修困難な項目がある場合は，検査あるいは治療が可能な本会指定の施設にて研修を行い，その施設の指導医(循環器専門医)に署名を依頼してください．

●研修施設・研修関連施設の指導責任者の方へ

「研修カリキュラム達成度評価表」に記載されている検査法および治療法で設備状況等により施設内で実施できない項目がある場合，受験申請予定者が関連の本会指定研修施設または関連施設で研修を受けられるようご配慮をお願いします．

全ての研修項目を修了していない場合は受験申請ができませんので，関連の施設との連携も含めご協力をお願いいたします．

「研修カリキュラム達成度評価表」の詳細については下記 URL よりご確認ください．
http://www.j-circ.or.jp/information/senmoni/hyoukahyou.htm

※カリキュラム達成度評価表は，受験申請の際にご提出いただきますので，それまで大切に保管してください．責任者の捺印後の評価表を紛失・喪失されました場合には，もう一度最初から研修し直しとなることもございますので，保管には十分にご注意ください．

以上

専門医認定更新の手続きについて

認定 4 年目12月上旬　「単位取得状況通知書」のお届け

認定 5 年目10月下旬　「循環器専門医認定更新のご案内」のお届け

認定更新に必要な条件は以下の通りです.

1　「更新」の意思表示をしていること

2　基本領域の資格を取得していること

3　更新に必要な単位を取得していること
（更新に必要な単位数は所定単位表をご確認ください.）

4　更新年度までの年会費を納入していること

5　認定更新料を納入していること

これらの条件を全て満たしていない場合は，資格を更新する事ができません.

◆　認定更新の条件・手続きの詳細については次頁をご参照ください.

循環器専門医認定更新のご案内

2014年４月１日に循環器専門医の認定更新となる循環器専門医へ，2013年10月下旬に「循環器専門医認定更新のご案内」を郵送しております．

お手数ですが，以下の手順に沿ってご対応をお願いします．

認定更新の条件および手続き

	更新条件	手 続 き	対応期日
1	**「更新」の意思表示※**	• 「認定更新 WEB 申請画面」から申請をお願いします． • 「認定更新 WEB 申請画面」の URL は本紙に記載しています．また認定更新 WEB 申請用 ID・PW は送付書類に記載しています． • 「認定更新申請 WEB 画面」上に申請マニュアルを掲載していますので確認しならが手続きをしてください．	**2013年11月21日（木）中**
2	**基本領域の資格を取得していること** （2014年４月１日現在有効な資格であること） 〈基本領域資格〉 • 内科系 認定内科医，総合内科専門医 • 小児科系 小児科専門医 • 外科系 外科専門医，外科認定登録医		
3	**更新に必要な単位の取得** 〈必要単位数〉 所定単位表を参照してください．なお，所定単位表の別表Ⅰ～Ⅵについては学会ホームページ→循環器専門医制度→規定，規則に掲載分を参照してください．	• ９月末までの単位取得状況は送付書類をご確認ください． その後の状況は，学会ホームページ→循環器専門医制度→「研修単位の照会」で確認してください． • 更新に必要な単位数を確認し自己申告で単位取得される場合は「認定更新 WEB 申請画面」から申請してください．	**2014年３月31日（月）中**
4	**更新年度（2013年度）までの年会費の納入**	• 納入状況は，「認定更新 WEB 申請画面」で確認が可能です． • 未納のため，振替用紙が必要な方は下記専門医担当メールアドレスまでご請求をお願いします．	〃
5	**認定更新料の納入**	条件の１から４を充足頂いた先生から更新料振替用紙を順次発送させて頂きます．郵便局よりお振り込みください．	**振替用紙送付時にご案内します．**

※辞退する場合も「認定更新 WEB 申請画面」から辞退申請の手続きをしてください．

認定更新 WEB 申請 URL：http://www.j-circ.or.jp/information/senmoni/web_shinsei.htm

その他

・認定期間終了時までに更新条件を充足していない場合，専門医資格は喪失となります．
・証書発送は，上記の更新条件を充足した方から，順次発送を致します．（３月中旬以降予定）
・更新後の認定期間は2014年４月１日～2019年３月31日となります．

【お問合せ先】
一般社団法人　日本循環器学会　事務局　専門医制度委員会担当
TEL: 03-5501-0863　FAX: 03-5501-9855
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

※WEB 申請が難しい場合は，以下に必要事項をご記入の上，FAX にて本用紙を事務局まで至急送付してください．必要書類・手続き方法を送付致します．

お名前：　　（専門医 NO.　　）

ご住所：〒　　－　　（TEL：　　）

循環器専門医認定更新
所 定 単 位 表

一般社団法人 日本循環器学会

以下の方法にて５年間に**必修研修単位を含む50単位**を取得することにより，循環器専門医の認定更新を行う．

登録方法	対 象 者	必修	単位加算対象	単 位 数
専門医カード単位登録票	参加者	★	日本循環器学会　学術集会	10
		★	〃　　教育セッション	5
		☆	〃　　医療安全・医療倫理に関する講演会※１	2
		★	日本循環器学会　地方会	5
		★	〃　　地方会教育セッション	3
事務局登録	筆頭著者		「Circ J」掲載論文(CL・EX・RC・ICM のみ)	10
	参画者		本会が推奨する臨床研究プロジェクト※２	2〜4
			本会が実施するプログラム	◎
	自己研修		本会が実施する教育プログラム　CD-ROM/DVD/ビデオ※３	3
自己申告	参加者		循環器関連学会　年次学術集会(別表Ⅰ)	3
			関連学会　年次学術集会(別表Ⅱ)	1
			本学指定国内学術集会・学術講演会(別表Ⅲ-1)	1
			本学指定国外学術集会・学術講演会(別表Ⅲ-2)	2
			日本医学会総会	5
			WCC・AHA・ACC・APCC※４・ESC	2
			その他の海外循環器関連学会集会(別表Ⅳ)	1
	筆頭著者		本会指定の循環器関連学会学術誌　掲載論文(英文)(別表Ⅴ)	5
			〃　　(和文)(　〃　)	3
			本会指定以外の循環器関連学術誌　掲載論文(英文)(別表Ⅵ)	3
			〃　　(和文)(　〃　)	1
	留学者		留学	1×月数

《単位登録方法について》

専門医カード：学会当日会場において専門医カードを持参・提示することにより単位を取得する．
単位登録票：学会当日会場において，単位登録票に記入し提出することにより単位を取得する．
事務局登録：上記該当者は自動的に単位が加算される．
自己申告：単位不足の場合，自己申告期間(認定５年目)に所定の自己申告書にて不足単位を申告する．但し，留学・研究プロジェクトについては『認定更新に関する規程』参照．

※１　印の医療安全・医療倫理に関する研修については，ホームページ上での視聴研修あるいは地方会でのDVD セッションでも可．ただし，同じ講演内容については，重複して単位は加算されない．
※２　詳細については「大規模臨床試験プロジェクト」単位付与規程に基づき専門医制度委員会で決定する．
※３　印については発売から約２年間のみが単位付与対象となる．各視聴教材に同封の単位申請ハガキに記載されている単位申請有効期限を確認すること．
※４　印の APCC については2009年開催(京都)に限り５単位とする．その他の開催については通常通り２単位．
◎印の単位数は委員会判断とする．
★印については必修研修とし，認定期間内に30単位を必ず取得のこと．★内での組み合わせは自由．
☆印については必修研修とし，認定期間内に最低１回(２単位)は受講すること．

専門医認定更新研修の必修化について

専門医制度委員会，理事会，2009年３月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました．変更点は下記のとおりです．

専門医認定更新に必要な研修単位(**50単位**)のうち，必修研修の単位配分は下記のとおりとなります．
認定更新には下記の必修研修単位を含む**合計50単位**が必要となります．

【必修研修と単位数】

① **最新医療の知識習得に関する研修……30単位**

日本循環器学会主催の学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含んでもよい)への参加にて単位を取得してください．

② **医療安全・医療倫理に関する研修…… 2 単位**

学術集会および地方会(※１)開催時の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加あるいはインターネット(※２)での視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください．

※１　各地方会での開催につきましてはDVDセッションとなり同じ講演を既に聴講されている場合には単位は重複して加算されません．
開催状況につきましては各地方会により異なります．事前に必ずご確認ください．

※２　インターネットでの視聴研修につきましては，下記からご覧いただけます．視聴にはID（会員番号)とパスワードが必要です．パスワードをお忘れの場合は下記ホームページから再発行可能です．

日本循環器学会ホームページ(http://www.j-circ.or.jp)
↓
循環器専門医制度
↓
〔専門医専用〕医療安全 Web 研修

【必修研修単位の取得期間】

現在の認定期間	必修研修単位の取得期間
2009/4/1～2014/3/31	2009/4/1～2014/3/31
2010/4/1～2015/3/31	2010/4/1～2015/3/31
2011/4/1～2016/3/31	2011/4/1～2016/3/31
2012/4/1～2017/3/31	2012/4/1～2017/3/31
2013/4/1～2018/3/31	2013/4/1～2018/3/31

【留学による特別措置】

1）留学期間中の海外学会参加研修単位について

留学により，日本循環器学会主催の学術集会・地方会に参加できなかった場合は，その留学期間中に開催された海外学会(WCC，AHA，ACC，APSC，ESC)への参加を，最新医療の知識習得に関する研修を行ったとして15単位を付与します．ただし，上記５学会の内１年間に複数参加しても，１年度につき１回分の研修単位のみしか認められません．

例）2012年度(2012/4/1～2013/3/31)に AHA と ACC に参加した場合は，どちらか一方の参加のみ「最新医療の知識習得に関する研修」15単位として認める．

※留学期間が連続して10ヶ月以上の者を対象とする．

申請方法は帰国後，２)に必要な留学単位申請書および在籍証明書に上記の海外学会参加証(ネームカード)コピーを同封してください．抄録集のコピーは不可．

2）留学期間の研修単位について

留学単位は必修研修以外の区分として現状通り１ヶ月１単位を加算します．

※帰国後，単位申請書および在籍証明書のコピーを提出すること．

3）認定更新日経過の場合について

更新日(各年度４月１日)を超えて留学中の場合は，現状通り取得単位に関わらず，所定の更新手続きを行えば更新することができます．

循環器専門医認定更新の必修研修および単位につきましてご質問などございましたら下記連絡先までお問合せください．

問い合わせ先：
一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)
専門医制度委員会　担当
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

重要！！外科系の基本領域資格をお持ちの方へ

専門医資格の更新については，「更新時に有効な基本領域資格を保持していること」が更新条件の一つとなっています．外科専門医以外の外科系の基本領域資格（外科認定医含む）をお持ちの先生につきましては，2013年度までに外科学会の暫定措置による外科認定登録医資格の取得が必須でしたが，外科学会にて申請期間を１年延長されることになりました．

外科認定登録医資格への変更手続きがまだの循環器専門医は，外科学会事務局へ直接に暫定措置の詳細をご確認のうえ移行手続きを完了くださいますようお願いいたします．

外科系の資格としては，**2014年度以降は外科専門医と外科認定登録医のみ更新に必要な資格として有効になります**．

「専門医カード」再発行のご案内

「循環器専門医研修単位登録」は，早くて便利な「専門医カード」による登録をお願いします．「専門医カード」は，本学会学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含む)・医療安全・医療倫理に関する講演会の単位登録手続きにご利用いただけます．

再発行は下記スケジュールで受け付けております．秋期の地方会に向けてご準備くださいますようご案内いたします．

●再発行時期(年３回)

２月下旬発行……12月末迄に申請された方には，３月の年次学術集会までに発行
５月上旬発行……３月末迄に申請された方には，春期の地方会までに発行
９月上旬発行……７月末迄に申請された方には，秋期の地方会までに発行

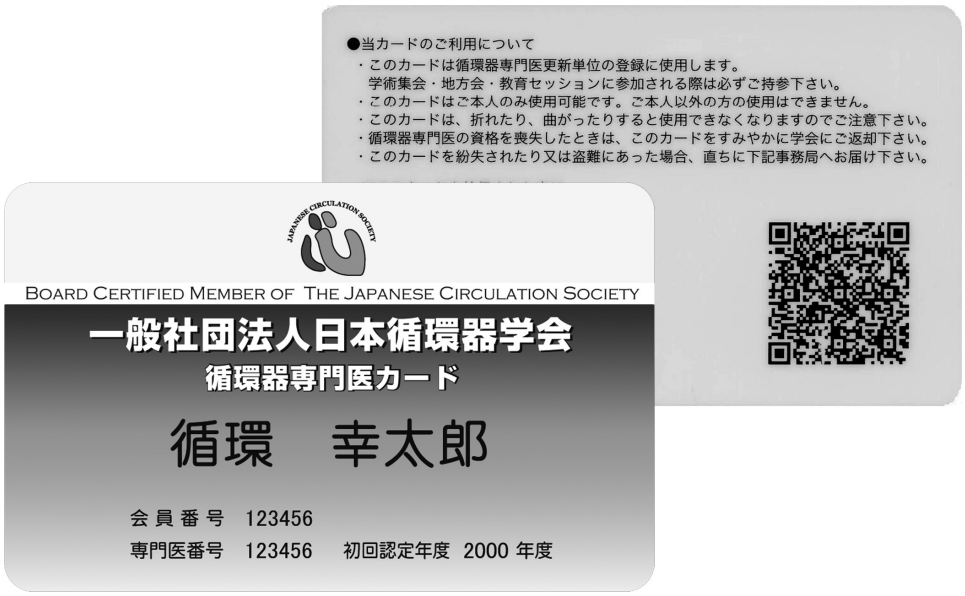
●再発行手数料

3,150円

●手順

１．「循環器専門医カード再発行申請書」(次ページ)に記入のうえ，本会事務局までお送りください(FAX・郵便・e-mail)．
２．学会から再発行手数料の請求書を送付します．
３．郵便局から再発行手数料を納入してください．
４．入金確認後，上記当該時期に郵送します．

以上



(一社)日本循環器学会専門医制度委員会

循環器専門医カード再発行申請書

(一社)日本循環器学会
代表理事　殿

標記のカードを紛失致しましたので，下記のとおり再発行を申請致します.
なお，紛失したカードが発見された時には，速やかに学会に届け出を致します.

太枠内はもれなく記入してください　　年　　月　　日

申請者氏名：
会員番号：(6桁)
生年月日： (西暦) 19　　年　　月　　日
事務局への連絡事項：

※事務手続きの都合上，発行(発送)時期は年3回となります.
①12月末申込締切　2月末発行　②3月末申込締切　5月上旬発行
③7月末申込締切　9月上旬発行
※手続きには再発行料(￥3,150(税込))が必要です．申請書到着後，請求書を送付致します.
カード発行は，ご入金後となりますのでご了承くださいますようお願い申し上げます.
※万一，請求書送付から1ヶ月経過してもご入金確認ができない場合は，本件申込みは失効することと致します.
※再発行料請求書及び循環器専門医カードは送本先へ送付致します.

※事務局記入欄

申請受付日	請求書送付	入金確認	送付

(一社)日本循環器学会　学会事務局　TEL (03)5501-0863　FAX (03)5501-9855

その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ

下記申請に関しては，学会ホームページ（http://www.j-circ.or.jp/）循環器専門医制度をご確認の上，必要書類をダウンロードしてください.

- 証明書交付申請（和文証明・英文証明書発行，循環器専門医証再発行）
- 施設証再交付申請
- 留学期間の研修単位申請
- 専門医カード再発行申請

上記の他，専門医制度に関する情報を学会ホームページ 循環器専門医制度 に掲載しておりますので，ご確認ください.

問い合わせ先：
一般社団法人 日本循環器学会（JCS 事務局）
専門医制度委員会　担当
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

地方会・関連学会・研究会情報

専門医研修単位認定学会情報

【お願い】

各学会情報は，申請された時点の情報を掲載していますので，開催までに情報に変更が生じることがございます．当日参加される場合は，必ず各学会・各地方会・各研究会にて情報をご確認ください．

1．日本循環器学会地方会
（単位登録票方式／
地方会：5単位．教育セッション：3単位．医療安全：2単位※）
※医療安全については各地方会により開催が異なります．各支部へ直接お問い合わせください．

《地方会当日会場での単位登録のみ受付》

第111回北海道地方会
会　期：2014年6月28日（土）
会　場：北海道大学学術交流会館（札幌市）
会　長：樋上哲哉（札幌医科大学心臓血管外科学講座）

第112回北海道地方会
会　期：2014年11月22日（土）
会　場：北海道大学学術交流会館（札幌市）
会　長：松居喜郎
（北海道大学循環器・呼吸器外科学分野）

第113回北海道地方会
会　期：2015年6月27日（土）
会　場：北海道大学学術交流会館（札幌市）
会　長：未定

第114回北海道地方会
会　期：2015年11月28日（土）
会　場：北海道大学学術交流会館（札幌市）
会　長：未定

第158回東北地方会
会　期：2014年6月7日（土）
会　場：岩手医科大学（盛岡市）
会　長：中村元行
（岩手医科心血管・腎・内分泌内科分野）

第159回東北地方会
会　期：2014年12月6日（土）
会　場：仙台国際センター（仙台市）
会　長：未定（福島県立医科大学）

第160回東北地方会
会　期：2015年6月6日（土）
会　場：未定（盛岡市）
会　長：未定（秋田大学）

第231回関東甲信越地方会
会　期：2014年2月1日（土）
会　場：東京ステーションコンファレンス（千代田区）
会　長：山﨑純一
（東邦大学医療センター大森病院循環器内科）

第232回関東甲信越地方会
会　期：2014年6月21日（土）
会　場：東京ステーションコンファレンス（千代田区）
会　長：井上晃男（獨協医科大学心臓・血管内科）

第233回関東甲信越地方会
会　期：2014年9月6日（土）
会　場：東京ステーションコンファレンス（千代田区）
会　長：中村文隆
（帝京大学ちば総合医療センター第三内科）

第234回関東甲信越地方会
会　期：2014年12月6日（土）
会　場：東京ステーションコンファレンス（千代田区）
会　長：大島　茂（群馬県立心臓血管センター）

第235回関東甲信越地方会
会　期：2015年2月7日（土）
会　場：東京ステーションコンファレンス（千代田区）
会　長：小林義典
（東海大学医学部付属八王子病院循環器内科）

第143回東海地方会
会　期：2014年7月5日（土）
会　場：じゅうろくプラザ（岐阜県岐阜市）
会　長：竹村博文（岐阜大学高度先進外科（第1外科））

第144回東海・第129回北陸合同地方会
会　期：2014年10月25日（土）～26日（日）
会　場：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）
（愛知県名古屋市）
会　長：伊藤正明（三重大学循環器・腎臓内科学）

第117回近畿地方会
会　期：2014年7月12日（土）
会　場：ナレッジキャピタル　コングレコンベンションセンター（大阪市）
会　長：佐賀俊彦（近畿大学心臓血管外科）

第118回近畿地方会
会　期：2014年11月29日(土)
会　場：ナレッジキャピタル　コングレコンベンションセンター(大阪市)
会　長：上田真喜子(大阪市立大学病理病態学)
第105回中国地方会
会　期：2014年12月６日(土)
会　場：ANA クラウンプラザホテル宇部(宇部市)
会　長：矢野雅文(山口大学器官病態内科学)
第105回四国地方会
会　期：2014年12月６日(土)
会　場：高松商工会議所(高松市)
会　長：上枝正幸(三豊総合病院・循環器科)
第104回中国・四国合同地方会
会　期：2014年７月18日(金)～19日(土)
会　場：岡山コンベンションセンター(岡山市)
会　長：伊藤　浩(岡山大学循環器内科学)
第116回九州地方会
会　期：2014年６月28日(土)
会　場：電気ビル 共創館/みらいホール(福岡市)
会　長：冷牟田浩司(九州医療センター循環器内科)

２．循環器関連学会
(自己申告方式／３単位)
※今後，会期および会場などの変更が生じる場合があります．詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください．
第44回日本心臓血管外科学会
会　期：2014年２月19日(水)～21日(金)
会　場：ホテル日航熊本・熊本県民交流館パレア・鶴屋ホール(熊本市)
会　長：川筋道雄(熊本大学心臓血管外科)
第50回日本小児循環器学会
会　期：2014年７月３日(木)～５日(土)
会　場：岡山コンベンションセンター(岡山市)
会　長：佐野俊二(岡山大学心臓血管外科)
第46回日本動脈硬化学会
会　期：2014年７月10日(木)～11日(金)
会　場：京王プラザホテル(新宿区)
会　長：永井良三(自治医科大学)
第20回日本心臓リハビリテーション学会
会　期：2014年７月19日(土)～20日(日)
会　場：みやこメッセ(京都市)
会　長：上嶋健治(京都大学医学研究科)
第50回日本循環器病予防学会
会　期：2014年７月20日(日)～21日(月)
会　場：京都市勧業館　みやこめっせ(京都市)
会　長：山科　章(東京医科大学第二内科)
第29回日本不整脈学会大会
会　期：2014年７月22日(火)～25日(金)
会　場：ザ・プリンスパークタワー東京(港区)
会　長：新田　隆(日本医科大学心臓血管外科)
第23回日本心血管インターベンション治療学会
会　期：2014年７月24日(木)～26日(土)
会　場：名古屋国際会議場
会　長：西川英郎(三重ハートセンター)
第62回日本心臓病学会
会　期：2014年９月26日(金)～28日(日)
会　場：仙台国際センター，東北大学百周年記念会館，川内萩ホール，仙台市民会館(仙台市)
会　長：下川宏明(東北大学循環器内科学)
第67回日本胸部外科学会
会　期：2014年９月30日(火)～10月３日(金)
会　場：福岡国際会議場，福岡サンパレス　ホテル＆ホール(福岡市)
会　長：富永隆治(九州大学医学研究院)
第18回日本心不全学会
会　期：2014年10月10日(金)～12日(日)
会　場：大阪国際会議場(大阪市)
会　長：北風政史(国立循環器病研究センター臨床研究部・心臓血管内科)
第37回日本高血圧学会
会　期：2014年10月17日(金)～19日(日)
会　場：パシフィコ横浜(横浜市)
会　長：梅村　敏(横浜市立大学病態制御内科学)
第55回日本脈管学会
会　期：2014年10月30日(木)～11月１日(土)
会　場：倉敷市芸文館(倉敷市)
会　長：種本和雄(川崎医科大学心臓血管外科)
第28回日本冠疾患学会
会　期：2014年12月12日(金)～13日(土)
会　場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)
会　長：(内科系)：一色高明(帝京大学循環器内科)
(外科系)：高梨秀一郎
(榊原記念病院心臓血管外科)

３．関連学会
(自己申告方式／１単位)
※今後，会期および会場などの変更が生じる場合があります．詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください．
第16回日本成人先天性心疾患学会
会　期：2014年１月11日(土)～12日(日)
会　場：岡山コンベンションセンター(岡山市)
会　長：佐野俊二(岡山大学心臓血管外科)
第41回日本集中治療医学会
会　期：2014年２月27日(木)～３月１日(土)
会　場：京都国際会議場，グランドプリンスホテル京都(京都市)
会　長：氏家良人(岡山大学救急医学)
第91回日本生理学会大会
会　期：2014年３月16日(日)～18日(火)
会　場：鹿児島大学郡元キャンパス(鹿児島市)
会　長：亀山正樹(鹿児島大学神経筋生理学)

第114回日本外科学会
会　期：2014年４月３日(木)～５日(土)
会　場：国立京都国際会館(京都市)
会　長：上本伸二(京都大学肝胆膵・移植外科)
第73回日本医学放射線学会
会　期：2014年４月10日(木)～13日(日)
会　場：パシフィコ横浜(横浜市)
会　長：金澤　右(岡山大学放射線科)
第117回日本小児科学会
会　期：2014年４月11日(金)～13日(日)
会　場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会　長：駒田美弘(三重大学医学系研究科)
第111回日本内科学会
会　期：2014年４月11日(金)～13日(日)
会　場：東京国際フォーラム(千代田区)
会　長：伊藤貞嘉(東北大学腎・高血圧・内分泌学)
第87回日本超音波医学会
会　期：2014年５月９日(金)～11日(日)
会　場：パシフィコ横浜(横浜市)
会　長：貴田岡正史(公立昭和病院内分泌代謝科)
第56回日本老年医学会
会　期：2014年６月12日(木)～14日(土)
会　場：福岡国際会議場(福岡市)
会　長：髙柳涼一
(九州大学医学研究院病態制御内科学)
第53回日本生体医工学会
会　期：2014年６月24日(火)～26日(木)
会　場：仙台国際センター〈仙台市)
会　長：松木英敏(東北大学医工学研究科)
第39回日本睡眠学会
会　期：2014年７月３日(木)～４日(金)
会　場：あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)，ホテルクレメント徳島(徳島市)
会　長：勢井宏義(徳島大学統合生理学)
第35回日本循環制御学会
会　期：2014年７月４日(金)～５日(土)
会　場：九州大学医学部百年講堂(福岡市)
会　長：廣岡良隆
(九州大学医学研究院先端循環制御学)
第57回日本腎臓学会
会　期：2014年７月４日(金)～６日(日)
会　場：パシフィコ横浜(横浜市)
会　長：渡辺　毅
(福島県立医科大学腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科)
第24回日本心臓核医学会
会　期：2014年７月18日(金)～19日(土)
会　場：愛媛県県民文化会館(ひめぎんホール)
(松山市)
会　長：望月輝一(愛媛大学放射線医学)
第54回日本核医学会
会　期：2014年11月６日(木)～８日(土)
会　場：大阪国際会議場(大阪市)
会　長：畑澤　順(大阪大学核医学)

４．医学会総会
(専門医単位／５単位)
第29回日本医学会総会
会　期：2015年４月11日(土)～13日(月)
会　場：国立京都国際会館，
グランドプリンスホテル京都，他
会　頭：井村裕夫(京都大学名誉教授)

５．本会指定の学術集会・学術講演会(国際会議)
(自己申告方式／２単位)
上記５．および６．の「指定研修集会制度」は2012年３月をもって終了しました．
自己申告区分として単位申請可能な会については，学会 HP にてご確認ください．

６．国際学会等
(自己申告方式／２単位)
ACC Annual Meeting
AHA Scientific Sessions
APCC
ESC Congress
WCC Scientific Sessions

※詳細については海外学会情報をご覧ください．

海 外 学 会 情 報

ACC Annual Scientific Session
会　期：2014年３月29日（土）～31日（月）
会　場：Washington, DC（U.S.A）
ＵＲＬ：http://www.cardiosource.org/

The Annual Spring Congress of The Korean Society of Cardiology
会　期：2014年４月18日（金）～19日（土）
会　場：Gwangju（Korea）
ＵＲＬ：http://circulation.or.kr/eng/

ESC Congress 2014
会　期：2014年８月30日（土）～９月３日（水）
会　場：Barcelona（spain）
ＵＲＬ：http://www.escardio.org/

AHA Scientific Sessions 2014
会　期：2014年11月15日（土）～19日（水）
会　場：Chicago（U.S.A）
ＵＲＬ：http://www.heart.org/HEARTORG/

その他の学会開催情報

第25回ビタミンＥ研究会
会　期：2014年１月24日（金）・25日（土）
会　場：米子市文化ホール
世話人：松浦達也（鳥取大学病態解析医学講座）
　　宇都義浩
　　（徳島大学ソシオテクノサイエンス研究部）
問合先：〒112-0012 東京都文京区大塚3-5-10　住友成泉小石川ビル1F　ビタミンＥ研究会事務局　清水佐久良
　　Tel. 03-5940-2620　Fax. 03-3942-6386
　　E-mail: vitamin-e@sunpla-mcv.com

第11回心電図伝送システム研究会
日　時：2014年２月22日（土）９：00～
場　所：日本大学医学部記念講堂（板橋区）
会　長：原　正壽（聖マリアンナ医科大学循環器内科）
代表世話人：加藤貴雄（国際医療福祉大学三田病院）
　　田邉晃久
　　（東海大学循環器内科/海老名総合病院）
事務局：〒173-0032 板橋区大谷口上町30-1
　　笠巻祐二（日本大学内科学分野）
　　Tel. 03-3972-8111

第24回体表心臓微小電位研究会
会　期：2014年２月22日（土）13：00～
会　場：日本大学医学部記念講堂（板橋区）
会　長：松井岳巳
　　（首都大学東京システムデザイン学部）
代表幹事：加藤貴雄（国際医療福祉大学三田病院）
事務局：〒173-0032 板橋区大谷口上町30-1
　　笠巻祐二（日本大学内科学分野）
　　Tel. 03-3972-8111

第８回 Trans Catheter Imaging Forum（TCIF2014）
会　期：2014年５月30日（金）～31日（土）
会　場：大阪国際会議場
問合先：〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町１丁目８番２号　三晃ビル505号
　　非営利活動法人（NPO 法人）日本血管映像化研究機構
　　Tel. 06-4391-0111　Fax. 06-4391-0112
　　E-mail: nkek@mx7.alpha-web.ne.jp

KCJL（近畿心血管治療ジョイントライブ）2014
会　期：2014年４月17日（木）～４月19日（土）
会　場：メルパルク京都・ホテルグランヴィア京都
問合先：〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5
　　タワーレジデンス　アネックス2E号室
　　KCJL 事務取扱　ハート・オーガナイゼーション
　　Tel. 0532-57-1278　Fax. 0532-52-2883
　　Email: kcjl@kcjl.gr.jp
　　URL: http://www.kcjl.gr.jp

研　究　助　成

第3回日本心臓財団・日循協・アストラゼネカ臨床疫学研究助成

対象分野：循環器疾患に対する一次～三次予防（発症予防，重症化予防，再発防止）のいずれかを目的とした臨床疫学研究
対象者：医師・保健師・看護師・管理栄養士・栄養士・薬剤師等医療関係に携わる者
対象となる研究：今後，応募者が主体となって調査・研究を行う臨床疫学研究であること（既にデータ収集が完了している研究は除く）
助成額：総額1,500万円（研究期間は3年以内で最大500万円／1件とし数件）
応募資格：
1）日本国内での研究に携わるわが国に在住する者
2）平成26年3月31日時点で40歳未満の者
3）同一研究テーマで他の助成を受けていない者
4）助成対象に選出された場合，日循協会員となり，2014年7月20日～21日に開催される第50回日本循環器病予防学会で研究概要を発表できる者
応募期間：2013年12月1日～2014年1月10日
問合先：〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1　小田急第一生命ビル4階　公益財団法人日本心臓財団
Tel. 03-5324-0810　Fax. 03-5324-0822
E-mail: shinsei@jhf.or.jp
URL: http://www.jhf.or.jp/

第10回日本心臓財団・ノバルティス循環器分子細胞研究助成募集要項

助成対象：循環器領域における分子細胞生物学的研究の進歩に著しい貢献が期待される研究者とする（研究対象は基礎あるいは臨床の別は問わない）
助成金：1件100万円を10件
応募資格：
1）わが国に在住する者
2）年齢が40歳未満（平成25年4月1日時点の年齢）
3）原則として臨床系教室およびそれに準ずる施設
4）原則として個人研究
5）過去に本研究の助成対象者となった者および前年度の助成課題の連続応募の場合は応募できない
6）応募は一人一題とする
応募期間：2013年12月1日～2014年1月31日（締切日必着）
問合先：〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1　小田急第一生命ビル4階　公益財団法人日本心臓財団
Tel. 03-5324-0810　Fax. 03-5324-0822
E-mail: shinsei@jhf.or.jp
URL: http://www.jhf.or.jp/

公益財団法人循環器病研究振興財団
第22回（2014年度）バイエル循環器病研究助成募集要項

研究テーマ：深部静脈血栓症
助成金額：500万円／1件，250万円／2件
応募資格：1970年4月1日以降に生まれた日本に在住する研究者
応募方法：ホームページから申請書および承諾書を各自入手し，推薦者および所属機関長の署名・職印捺印の上，財団まで送付のこと
応募締切：2014年1月15日～3月15日（同日消印有効）
問合先：〒565-8565 吹田市藤白台5-7-1　国立循環器病センター内
公益財団法人循環器病研究振興財団「バイエル循環器病研究助成」係
Tel. 06-6872-0010　Fax. 06-6872-0009
E-mail: koubo@jcvrf.jp
URL: http://www.jcvrf.jp

日本心臓血管内視鏡学会　褒賞内田賞応募要項

主　旨：日本における循環器病の発展に寄与する埋もれた若手研究者を育成する
賞　金：250万円
応募資格：
1）日本国内で行った循環器分野の研究
2）2013年4月～2014年3月に学会誌に掲載された論文
3）対象研究者は論文のファーストオーサーで応募時45歳以下の研究者
4）他の学会賞などを受賞していない論文
応募方法：下記URLから申込書を各自入手し，必要書類を下記住所まで送付のこと
応募締切：2014年5月1日～6月30日
問合先：〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30 イタリア文化会館ビル8F
日本心臓血管内視鏡学会「褒賞内田賞」係
（株）メディカルトリビューン 学会事務局
Tel. 03-3239-7264　Fax. 03-3239-7225
URL: http://jacscopy.org/ja/

ACLS 講習会情報

循環器救急医療委員会

AHA ACLS プロバイダーコース受講のためには AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコースの修了が必要です．未受講の方は，まずはこのコースを受講してください．詳しくはホームページ（http://www.j-circ.or.jp/）の「BLS・ACLS 講習会情報」をご参照ください．

日本循環器学会は2007年 3 月に，AHA と契約して国際トレーニングセンター（ITC）となり，循環器救急医療委員会（旧称：心肺蘇生法委員会）の中の教育部門として ECC（緊急心血管治療）プログラムを独自に推進させていく事になり，JCS-ITC コースとして各支部において開催致します．

私たちは日本での心臓突然死の予防と心停止の救命率の改善およびそれによる後遺症を減らすことを目標に掲げます．それには地域での「救命の連鎖」の確立が重要となります．そのためには，会員すべてが心肺蘇生法トレーニングを受け，医師・コメディカル・一般市民への指導者になること，そして特に循環器専門医は標準的な二次救命処置（Advanced Cardiovascular Life Support, ACLS）を習得し，循環器救急医療におけるチームリーダーになることが必要です．また，循環器専門医の受験資格に AHA-ACLS 修了が必須となっています．このトレーニングコースは，アメリカ心臓協会（AHA）がこれまで築き上げてきたトレーニングプログラムを用いて実施されます．下記のコースに積極的に参加いただき，地域での「救命の連鎖」確立を推進していただける方を募集します．各コースの受講者募集の詳細は日本循環器学会ホームページ（http://www.j-circ.or.jp/）の「ACLS 講習会情報」にてご確認ください．

受講料　32,000円
受講対象者：原則として医療従事者（医師・看護師・救急救命士など日本国内での医療国家試験有資格者に限定します）
受講申し込み方法：当会ホームページ「BLS・ACLS 講習会情報」のページからご希望のコースをお選びいただき，オンラインフォームにてお申し込みください．以下のコーススケジュールの募集締め切りは延長される場合がありますので，ホームページにてご確認ください．

JCS-ITC2014/01/04-05関東甲信越支部国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース
開催日：2014年 1 月 4 日（土）～ 5 日（日）の 2 日間
会　場：国立病院機構東京医療センター
受講募集人数：15名
コースディレクター：布施　淳（国立病院機構東京医療センター循環器科）
2013年12月11日（水）まで募集（延長の場合もあり）
問い合わせ
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　佐々木和也
Phone:019-652-5406
Fax:019-604-8244
Email: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2014/01/11-12北海道支部国立病院機構函館病院 AHA ACLS プロバイダーコース
開催日：2014年 1 月11日（土）～12日（日）の 2 日間
会　場：国立病院機構函館病院　講堂
受講募集人数：15名
コースディレクター：高橋　弘（製鉄記念室蘭病院）
2013年12月24日（火）まで募集（延長の場合もあり）
問い合わせ：
日本循環器学会北海道支部事務局　石森直樹
北海道大学大学院医学研究科 循環病態内科学内
Phone: 011-706-6973
Fax: 011-706-7874
Email: interdoctorland100hiro@gmail.com

JCS-ITC2014/01/18-19近畿支部和歌山県立医科大学 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年１月18日（土）～19日（日）の２日間
会　場：和歌山県立医科大学　臨床技能研修センター（和歌山県和歌山市紀三井寺）
受講募集人数：12名
コースディレクター：加藤正哉（和歌山県立医科大学）
2013年12月15日（日）まで募集（延長の場合もあり）
問い合わせ：
日本循環器学会近畿支部事務局　山口良彦
Phone: 075-212-2015
Fax: 075-212-0691
E-mail: kyoto@congre.co.jp

JCS-ITC2014/01/18-19東海・北陸支部合同市立島田市民病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年１月18日（土）～19日（日）の２日間
会　場：市立島田市民病院　救急センター講堂（静岡県島田市野田）
受講募集人数：12名
コースディレクター：岩嶋大介（市立島田市民病院）
2013年12月24日（火）まで募集（延長の場合もあり）
問い合わせ：
日本循環器学会東海支部事務局　渡辺裕一
Phone: 052-950-3365
Fax: 052-950-3370
E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2014/01/18-19関東甲信越支部本郷マッシュアップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年１月18日（土）～19日（日）の２日間
会　場：本郷マッシュアップスタジオ（東京都文京区湯島）
受講募集人数：18名
コースディレクター：中山英人（埼玉医科大学病院麻酔科）
１月８日（水）まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2014/01/18-19関東甲信越支部相澤病院ヤマサホール AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年１月18日（土）～19日（日）の２日間
会　場：相澤病院ヤマサホール
募集人数：18名
コースディレクター：宮澤　泉（長野赤十字病院循環器内科）
12月25日（水）まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
Email: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2014/01/25-26関東甲信越支部獨協医科大学創立30周年記念館 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年１月25日(土)～26日(日)の２日間
会　場：獨協医科大学創立30周年記念館(栃木県下都賀郡壬生町)
受講募集人数：12名
コースディレクター：菊地　研(獨協医科大学心臓・血管内科)
2013年12月23日(月)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2014/01/25-26東海・北陸支部合同静岡県立総合病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年１月25日(土)～26日(日)の２日間
会　場：静岡県立総合病院　６階教育研修センター
受講募集人数：18名
コースディレクター：野々木宏(静岡県立総合病院)
2014年１月６日(月)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会東海支部事務局　渡辺裕一
Phone: 052-950-3365
Fax: 052-950-3370
Email: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2014/01/25-26中国支部広島大学医学部 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年１月25日(土)～26日(日)の２日間
会　場：広島大学医学部　基礎・社会医学棟２階　セミナー室１，２(広島県広島市南区)
受講募集人数：12名
コースディレクター：谷川攻一(広島大学救急医学)
１月８日(水)まで募集
問い合わせ：
山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学内(第二内科)　岡部英美
Phone: 0836-22-2248
Fax: 0836-22-2246
E-mail: nichijun@yamaguchi-u.ac.jp

JCS-ITC2014/02/08-09関東甲信越支部新潟医療センター併設日伸ビル AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年２月８日(土)～９日(日)の２日間
会　場：日伸ビル　１，２階(新潟医療センター併設建物)(新潟県新潟市西区)
受講募集人数：15名
コースディレクター：船崎俊一(済生会川口総合病院)
１月８日(水)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2014/02/08-09関東甲信越支部国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年２月８日(土)～９日(日) の２日間
会　場：国立病院機構東京医療センター
受講募集人数：15名
コースディレクター：布施　淳(国立病院機構東京医療センター循環器科)
１月15日(水)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2014/02/15-16北海道支部札幌医科大学保健医療学部 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年２月15日(土)～16日(日)の２日間
会　場：札幌医科大学　保健医療学部４階　405号室
受講募集人数：20名
コースディレクター：高橋　弘(製鉄記念室蘭病院)
２月３日(月)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会北海道支部事務局　石森直樹
北海道大学大学院医学研究科 循環病態内科学内
Phone: 011-706-6973
Fax: 011-706-7874
Email: interdoctorland100hiro@gmail.com

JCS-ITC2014/02/15-16東海・北陸支部合同名古屋医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年２月15日(土)～16日(日) の２日間
会　場：名古屋医療センター
受講募集人数：18名
コースディレクター：鈴木秀一(名古屋医療センター)
１月20日(月)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会東海支部事務局　渡辺裕一
Phone: 052-950-3365
Fax: 052-950-3370
Email: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2014/02/15-16近畿支部神戸労災病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年２月15日(土)～16日(日)の２日間
会　場：神戸労災病院　3F リハビリ室(兵庫県神戸市中央区)
受講募集人数：18名
コースディレクター：安本　均(大阪暁明館病院)
１月19日(日)まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会近畿支部事務局　山口良彦
Phone: 075-212-2015
Fax: 075-212-0691
E-mail: kyoto@congre.co.jp

JCS-ITC2014/02/15-16中国支部岡山赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年２月15日（土）～16日（日）の２日間
会　場：岡山赤十字病院　センター棟４階　研修室（岡山県岡山市北区）
受講募集人数：12名
コースディレクター：齋藤博則（岡山赤十字病院）
１月22日（水）まで募集
問い合わせ：
山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学内（第二内科）　岡部英美
Phone: 0836-22-2248
Fax: 0836-22-2246
E-mail: nichijun@yamaguchi-u.ac.jp

JCS-ITC2014/02/15-16関東甲信越支部本郷マッシュアップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年２月15日（土）～16日（日）の２日間
会　場：本郷マッシュアップスタジオ（東京都文京区湯島）
受講募集人数：18名
コースディレクター：中山英人（埼玉医科大学病院麻酔科）
２月５日（水）まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2014/02/15-16関東甲信越支部長野赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年２月15日（土）～16日（日）の２日間
会　場：長野赤十字病院基幹災害医療センター
受講募集人数：18名
コースディレクター：宮澤　泉（長野赤十字病院循環器内科）
１月23日（木）まで募集
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2013/02/22-23九州支部鹿児島大学病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2014年２月22日（土）～23日（日）の２日間
会　場：鹿児島大学病院　保健学科５階（鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘）
受講募集人数：12名（最低履行人数５名）
コースディレクター：平井信孝（熊本地域医療センター循環器内科）
１月19日（日）まで募集
問い合わせ：
熊本地域医療センター　平井信孝
Phone: 096-363-3311
Fax: 096-362-0222
Email: nobutaka@krmc.or.jp

ACLS プロバイダー資格更新コース

受講料：18,000円

受講要件：

1．有効期限内の BLS ヘルスケアプロバイダーカードを有すること

2．有効期限内の ACLS プロバイダーカードを有すること

追補 1）有効期限を過ぎている ACLS カードを有している場合，更新コースの受講は可能です.

ただし，実技試験，筆記試験ともに補習や再試験の機会はありませんので，万一，両試験に 1 回で合格しない場合には，ACLS 更新コースの再受講は不可となっております.

改めて 2 日間の通常の ACLS コースを受講いただくことになります(受講料も新たに必要となります).

追補 2）AHA ACLS コースをこれまで一度も受講したことがない場合には，ACLS 更新コースの受講は原則として認められておりません.

JCS-ITC2013/12/29関東甲信越支部レールダル本社一番町トレーニングセンター AHA ACLS プロバイダー更新コース

開催日時：2013年12月29日(日)
会　場：レールダル本社一番町トレーニングセンター
受講募集人数：5名
コースディレクター：金子一郎(帝京大学医学部救急医学講座)
12月11日(水)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局　佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
Email: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2014/02/16東海・北陸支部合同名古屋医療センター AHA ACLS プロバイダー更新コース

開催日時：2014年2月16日(日)
会　場：名古屋医療センター
受講募集人数：12名
コースディレクター：都築通孝(豊田厚生病院)
1月20日(月)まで募集
問い合わせ
日本循環器学会東海支部事務局　渡辺裕一
Phone: 052-950-3365
Fax: 052-950-3370
Email: jcs-tokai@congre.co.jp

映像教材販売のご案内

喫煙防止映像教材販売のご案内

禁煙推進委員会

ご承知のように，喫煙は喫煙者のみならず受動喫煙者にとっても，虚血性心疾患をはじめとする循環器疾患，呼吸器疾患，がん，その他の疾患の発症・進展にとって重要な危険因子です．禁煙推進委員会では，医療現場からのメッセージを込めた『今から始める喫煙防止教育２版』という喫煙防止映像教材（DVD）を制作し，その販売をしておりますのでご案内申し上げます．

会員・非会員を問わずご購入いただけます．日本循環器学会禁煙推進委員会の意図と願いをご理解いただき，是非ご活用いただければ幸いです．

なおご購入のお申し込み・お問い合せは，下記の特約代理店までお願い致します．

〈内容〉

Part. 1：たばこ，やめてね
（小学校１，２年生用／６分）
Part. 2：タバコのけむりはあぶないよ!!
（小学校３，４年生用／10分）
Part. 3：タバコって本当はどんなもの？
（小学校５，６年生用／12分）
Part. 4：考えてみよう タバコと健康
（中学生・高校生用　／14分）
Part. 5：タバコか健康か あなたはどちらを選びますか
（一般・大学生用　　／17分）

〈価格〉

1,995 円
（税込，送料別）

〈購入お申し込み・お問い合せ先〉

（特約代理店）
（株）少年写真新聞社　メディア開発部
ＴＥＬ：03-3261-4001
ＦＡＸ：03-5276-7785
ＵＲＬ：http://www.schoolpress.co.jp/home.html

教育研修映像販売のご案内

教育研修委員会

下記の教材１タイトルご購入につき，専門医研修単位が３単位加算されます．本体についている返信はがきに必要事項をご記入の上，50円切手を貼ってご郵送ください．ただし，単位の付加は，ご購入ご本人のみに限ります．単位受付は同じタイトルにつき１回限りの受付となりますのでご了承ください．

※なお，単位申請ハガキの受付には期限があります．詳細は下記の各 DVD 単位申請期間をご確認ください．

ご購入の申し込みは，日循ホームページ（http://www.j-circ.or.jp/）の「**刊行物購入のご案内**」からオンラインでお受けしています．もしくは E-mail（meeting@j-circ.or.jp）かファックス（075-213-1675）で，ご希望のタイトル，VHS か DVD（一部 CD-ROM）か，氏名，会員番号，お届け先住所，電話番号をお書き添えの上，お申込みください．

■循環器研修ビジュアルシリーズ（VHS/CD-ROM 各巻 ￥9,975　日循会員価格 ￥6,300 税込）

2004年度製作分（VHS/CD-ROM）　単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

Vol. 6 .「循環器 Physical Examination の実際」
監修：吉川　純一（大阪市立大学循環器病態内科学）

2005年度製作分（VHS/DVD）　単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

Vol. 7 .「循環器病の画像診断―心臓 CT，MRI」
監修：栗林　幸夫（慶應義塾大学放射線診断科）

Vol. 8 .「大動脈・末梢血管疾患の超音波診断」
監修：鄭　　忠和（鹿児島大学循環器呼吸器代謝内科学）

2006年度製作分（VHS/DVD）　単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

Vol. 9 .「メタボリックシンドロームの診断と基準」
監修：島本　和明（札幌医科大学内科学第二）

Vol.10.「カテーテルアブレーションによる不整脈治療の実際」
監修：相澤　義房（新潟大学医歯学総合研究科循環器学分野）

2007年度製作分（VHS/DVD）　単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

Vol.11.「弁膜症の内科治療と手術のタイミング」
監修：吉田　　清（川崎医科大学循環器内科）

Vol.12.「急性冠症候群の治療戦略」
監修：木村　　剛（京都大学循環器内科）

2008年度製作分（DVD のみ）　単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

Vol. 1 .「急性心不全の診断と治療戦略（第２版）」
監修：堀　　正二（大阪府立成人病センター）

Vol.13.「大動脈疾患の診断と治療戦略」
監修：上田　裕一（名古屋大学心臓外科学）
　　栗林　幸夫（慶應義塾大学放射線診断科）

2009年度製作分（DVD のみ）　単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

Vol. 4 .「抗不整脈薬の使い方（Ⅱ）（第２版）」
監修：新　　博次（日本医科大学多摩永山病院）

Vol.15.「糖尿病患者のフットケア」
監修：笹嶋　唯博（旭川医科大学第一外科）

2010年度製作分（DVD のみ）　単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

Vol. 2 .「抗不整脈薬の使い方（Ⅰ）（第２版）」
監修：堀江　　稔（滋賀医科大学呼吸循環器内科）

Vol.14.「心臓リハビリテーションの新たな展開」
監修：後藤　葉一（国立循環器病研究センター心臓血管内科）

2011年度製作分(DVD のみ)　単位申請期日：2014年 3 月31日
Vol. 3 .「慢性心不全の病態をふまえた診断・治療(第 2 版)」
監修：筒井　裕之（北海道大学循環病態学）
Vol.16.「冠循環の形態的，機能的評価」
監修：赤阪　隆史（和歌山県立医科大学循環器内科）
Vol.18.「補助循環・心臓移植の臨床」
監修：許　　俊鋭（東京大学重症心不全治療開発講座）

New 2012年度制作分(DVD のみ)　単位申請期日：2015年 3 月31日
Vol. 6 .「循環器 physical examination の実際(第 2 版)
監修：吉川　純一
Vol.17.「心臓ページング治療の現状」
監修：萩原　誠久（東京女子医科大学循環器内科）
原案：真中　哲之（東京女子医科大学循環器内科）

■循環器教育セッション CD-ROM(各回3巻セット ￥9,450 税込)
第33回循環器教育セッション　2005年 3 月19日(土)～21日(月)
単位申請期日：2012年 5 月31日にて終了．単位付与不可
セッションⅠ　新しい高血圧ガイドライン JSH-Ⅱ
座長：土居　義典（高知大学料年病科・循環器科）
藤田　敏郎（東京大学内科学）
セッションⅡ　心臓弁膜症をいかに診断し，いかに治療するか
座長：吉川　純一（大阪市立大学循環器病態内科学）
川副　浩平（岩手医科大学附属循環器医療センター）
セッションⅢ　冠動脈疾患の治療の進歩―早期及び遠隔成績から―
座長：遠藤　真弘（東京女子医科大学心臓血管外科）
木村　　剛（京都大学循環器内科）
第34回循環器教育セッション　2006年 3 月24日(金)～26日(日)
単位申請期日：2012年 5 月31日にて終了．単位付与不可
セッションⅠ　心不全の治療―薬物療法から非薬物療法まで―
座長：矢野　捷介（長崎大学循環制御内科学）
高野　照夫（日本医科大学内科学第一）
セッションⅡ　メタボリック・シンドローム―本邦の診断基準―
座長：松澤　佑次（住友病院）
島本　和明（札幌医科大学第二内科）
セッションⅢ　不整脈の治療―薬物療法から非薬物療法まで―
座長：笠貫　　宏（東京女子医科大学循環器内科）
児玉　逸雄（名古屋大学環境医学研究所循環器分野）
第35回循環器教育セッション(DVD)　2007年 3 月15日(木)～17日(土)
単位申請期日：2012年 5 月31日にて終了．単位付与不可
セッションⅠ　心筋・血管再生医療の展開
座長：小室　一成（千葉大学循環病態医科学）
室原　豊明（名古屋大学循環器内科学）
セッションⅡ　各学会ガイドラインの比較：リスク重積患者に対する治療法
座長：藤田　敏郎（東京大学腎臓内分泌内科）
代田　浩之（順天堂大学循環器内科）
セッションⅢ　ACS のリスク層別化と治療戦略― PCI と CABG を中心に―
単位申請期日：2012年 5 月31日にて終了．単位付与不可
座長：幕内　晴朗（聖マリアンナ医科大学心臓血管外科）
西村　重敬（埼玉医科大学循環器内科）
第36回循環器教育セッション(DVD)　2008年 3 月28日(金)～30日(日)
単位申請期日：2012年 5 月31日にて終了．単位付与不可

セッションⅠ　心疾患患者の心臓手術・非心臓手術のリスク評価
座長：吉川　純一（大阪掖済会病院）
上田　裕一（名古屋大学心臓外科）
セッションⅡ　日本における心臓突然死
座長：笠貫　　宏（東京女子医科大学循環器内科）
三田村秀雄（東京都済生会中央病院）
セッションⅢ　糖尿病と循環器疾患
座長：島本　和明（札幌医科大学第二内科）
犀川　哲典（大分大学循環器病態制御講座）

第37回循環器教育セッション（DVD４巻セット　￥12,600税込）　2009年３月20日（金）～23日（日）
単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

Vol. 1　ビデオライブで見るリスクとベネフィットを考えた治療戦略(1)
１．「EPS」ビデオライブ
座長：福並　正剛（大阪府立急性期・総合医療センター心臓血管センター）
松本　万夫（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科）
２．「外科『弁形成術』」ビデオライブ
座長：澤　　芳樹（大阪大学外科学講座心臓血管外科）
宮本　裕治（兵庫医科大学心臓血管外科）
Vol. 2　ビデオライブで見るリスクとベネフィットを考えた治療戦略(2)
１．「PCI」ビデオライブ
座長：南都　伸介（関西労災病院循環器科）
一色　高明（帝京大学循環器科）
２．「EVT」ビデオライブ
座長：南都　伸介（関西労災病院循環器科）
古森　公浩（名古屋大学血管外科）
Vol. 3　JSH-2009による高血圧の管理と心血管病
座長：荻原　俊男（大阪府立急性期・総合医療センター）
島本　和明（札幌医科大学第二内科）
Vol. 4　循環器疾患の抗凝固・抗血小板療法
座長：一色　高明（帝京大学循環器科）
是恒　之宏（国立病院機構大阪医療センター臨床研究部）

第38回循環器教育セッション（DVD４巻セット　￥12,600税込）　2010年３月５日（金）～７日（日）
単位申請期日：2012年５月31日にて終了．単位付与不可

Vol. 1　ビデオライブで見る最新の心血管疾患カテーテル治療・外科治療(1)
１．「不整脈電気生理」ビデオライブ
座長：内藤　滋人（群馬県立心臓血管センター）
静田　　聡（京都大学循環器内科）
２．「外科」ビデオライブ
座長：四津　良平（慶應義塾大学心臓血管外科）
佐賀　俊彦（近畿大学心臓血管外科）
Vol. 2　ビデオライブで見る最新の心血管疾患カテーテル治療・外科治療(2)
１．「PCI」ビデオライブ
座長：一色　高明（帝京大学循環器内科）
木村　　剛（京都大学循環器内科）
２．「末梢血管インターベンション」ビデオライブ
座長：横井　良明（岸和田徳洲会病院循環器内科）
木村　　剛（京都大学循環器内科）
Vol. 3　睡眠時無呼吸症候群と循環器疾患
座長：山科　　章（東京医科大学第二内科）
安藤　真一（福岡県済生会二日市病院循環器内科）

Vol. 4　炎症と循環器疾患
座長：野出　孝一（佐賀大学循環器・腎臓内科）
竹石　恭知（福島県立医科大学内科学第一講座）

第39回循環器教育セッション DVD-ROM　￥5,000(税込)　2011年 8 月 3 日(水)～ 4 日(木)
単位申請期日：2014年 3 月31日

第39回より DVD-ROM に仕様変更し，1 枚のディスクにまとめました．DVD-ROM は家庭用 DVD レコーダーでは再生できませんのでご注意ください．

セッションⅠ　ビデオで見る最新の心血管カテーテル治療
1．心房細動に対するカテーテルアブレーション
座長：熊谷浩一郎（国際医療福祉大学循環器内科）
山根　禎一（東京慈恵会医科大学循環器内科）
2．ASD のカテーテル閉鎖術
座長：中西　敏雄（東京女子医科大学循環器小児科）
高山　守正（榊原記念病院）
3．ここまで来た胸部ステントグラフト内挿術
座長：吉川　公彦（奈良県立医科大学放射線医学教室）
加藤　雅明（森之宮病院心臓血管外科）

セッションⅡ　高齢者における循環器疾患の管理と問題点
座長：苅尾　七臣（自治医科大学循環器内科学部門）
江頭　正人（東京大学総合研修センター）
大内　尉義（東京大学加齢医学講座）

セッションⅢ　心臓手術後のリハビリテーション―内科・外科の連携―
座長：野原　隆司（北野病院心臓センター）
佐賀　俊彦（近畿大学心臓血管外科）

第40回循環器教育セッション DVD-ROM　￥5,000(税込)　2012年 3 月16日(金)～18日(日)
単位申請期日：2014年 3 月31日

セッションⅠ
1．心房細動のアブレーション：CFAE 法
座長：Koonlawee Nademanee（Pacific Rim Electrophysiology Research Institute, Los Angeles, USA）
奥村　　謙（弘前大学循環呼吸腎臓内科学）
2．3D エコーと僧帽弁形成術
座長：尾辻　　豊（産業医科大学第二内科）
川副　浩平（聖路加国際病院心血管センター心臓血管外科）
3．大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁植込み術
座長：友池　仁暢（榊原記念病院）
中谷　　敏（大阪大学保健学専攻）

セッションⅡ　重症心不全治療の新しい展開
座長：和泉　　徹（北里大学循環器内科学）
許　　俊鋭（東京大学重症心不全治療開発講座／東京都健康長寿医療センター心臓外科）

セッションⅢ　肺動脈血栓塞栓症の予防・診断・治療
座長：安藤　太三（藤田保健衛生大学心臓血管外科）
伊藤　正明（三重大学循環器・腎臓内科学）

※座長所属はセッション開催時のもの．

New　第41回循環器教育セッション DVD-ROM　￥5,000(税込)　2013年 3 月15日(金)～17日(日)
単位申請期日：2015年 3 月31日

セッションⅠ
1．心臓 CT/MRI の最新動向
座長：尾崎　行男（藤田保健衛生大学循環器内科）
吉岡　邦浩（岩手医科大学放射線医学）

2．閉塞性肥大型心筋症に対する PTSMA
座長：一色　高明（帝京大学循環器内科）
3．心房細動アブレーションにおける三次元マッピングの活用
座長：熊谷浩一郎（福岡山王病院ハートリズムセンター）
沖重　　薫（横浜市立みなと赤十字病院循環器内科）

セッションⅡ　冠動脈血行再建術―診療ガイドラインを実臨床にいかに活かすか？―
座長：落　　雅美（日本医科大学心臓血管外科）
住吉　徹哉（榊原記念病院循環器内科）

セッションⅢ　新しい抗凝固薬の臨床
座長：後藤　信哉（東海大学循環器内科）
山下　武志（心臓血管研究所付属病院）

第77回 日本循環器学会学術集会 DVD-ROM発売!!

パシフィコ横浜での講演記録　　会期：2013年3月15～17日

購入し研修されると専門医研修単位が 3単位 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります、単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

これ一枚で43セッション228延べ座長・演者、52時間収録！

DVD購入者は WEBでもご視聴いただけます！

価格5,000円（送料、税込）

発行予定 6月20日

＜収録内容＞

真下記念講演　1セッション

MML. Discovery and Development of Statins

百一賀記念特別講演　1セッション

MLC. 医療プロフェッショナルの育成

会長講演　1セッション

CCL. Wonderful Voyage through Intravascular Imaging

International Honorary Member's Memorial Lectures　1セッション

特別講演　8セッション

SL1. Plaque Morphology : Can We Change the (Interventional)Management Paradigms?

SL3. Imaging-based Strategies for Detection and Monitoring of Subclinical Cardiovascular Diseases

SL4. Advances in Acute Coronary Syndromes

SL5. Sudden Cardiac Death: What is New?

SL7. High Sensitivity Cardiac Troponins: From re-definition of Acute Myocardial Infarction to Risk Prediction in non-ACS Patients

SL8. Difference Between Native Coronary Atherosclerosis, Vein Graft Atherosclerosis, and In-stent Neoatherosclerosis

SL9. Basic and Clinical Advances in Inflammation in Atherosclerosis

SL10. The Interventional Treatment of Atrial Fibrillation

International Imaging Conference

会長特別企画（1）3セッション

IIC1. How do we use imaging device before PCI?

IIC2. Why do we use imaging device after PCI?

IIC3. Clinical application of future imaging technology

The challenges of translation from discovery to therapy in 21st century cardiovascular medicine (JCS/ISHR joint symposium)

会長特別企画（2）1セッション

世界へ翔く循環器医学の発見・発明“メイド・イン・ジャパン”

会長特別企画（3）2セッション

症例から学ぶ

会長特別企画（4）8セッション

1. 心房細動にたいする Total Management
2. この冠動脈疾患をどうする？
3. EBM の実践：この心不全症例にどのように対応するか？
4. 治療抵抗性高血圧へのアプローチ
5. この弁膜症：あなたならどうする？
6. 非心臓手術の術前リスク評価と対応
7. 失神・めまいへのアプローチ
8. 成人先天性心疾患へのアプローチ

理想的な医療現場とは? ―各界からの提言―

会長特別企画（5）1セッション

プレナリーセッション 1～7 全て　7セッション

PS1. Beyond LDL：残存リスクを考える

PS2. Frontier of the treatment of atrial fibrillation

PS3. To Improve Outcomes of Acute Heart Failure Patients: Lessons from Asian and Western Registries

PS4. 治療抵抗性高血圧を克服する

PS5. New advance in cardiac regenerative medicine —basic research and clinical trial—

PS6. 心臓と他臓器のコミュニケーションを探る ―臓器連関から考える新しい循環器病治療戦略―

PS7. 成人期の川崎病の実態と管理

ジョイントシンポジウム 1～4 全て　4セッション

JSY1. AHA-JCS Joint Symposium
Heart Failure Update 2013

JSY2. ACC-JCS Joint Symposium
Cardiac rehabilitation as cardiovascular therapy

JSY3. ESC-JCS Joint Symposium
Recent Progress in the Understanding, Management and Prevention of Sudden Cardiac Death

JSY4. KSC-JCS Joint Symposium
Diabetic Coronary Artery Disease in Asia th

Late Breaking Clinical Trials 1,2 全て　2セッション

LBCT1. Late Breaking Clinical Trials 1

LBCT2. Late Breaking Clinical Trials 2

Late Breaking Cohort Study 1,2,3 全て　3セッション

LBCS1. Late Breaking Cohort Study 1

LBCS2. Late Breaking Cohort Study 2

LBCS3. Late Breaking Cohort Study 3

お申込みはインターネットまたは FAX でもお申込み頂けます。
日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。
DVDに収録されている座長・演者名（ご所属）及び演題名もご覧いただけます。

■お問い合わせ先　株式会社 メディカルビスタ
0120-046-844　FAX：03-6368-9509　Mail：jcsdvd@medicalvista.jp

企画著作：一般社団法人　日本循環器学会
〒100-0011　東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー 18F

制作販売受託：株式会社 メディカルビスタ
〒812-0011　福岡市博多区博多駅前 3-7-35 博多ハイテックビル 5F

第77回日本循環器学会学術集会 DVD-ROMのお申込

価格　1部 ￥5,000（送料、税込）

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ（http://www.j-circ.or.jp）**「刊行物購入のご案内」**から、
又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03(6368)9509**までFAXにてお申込ください。

お支払方法

＜お申込者個人名の場合＞

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。
お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。
ご送付先は、E-Mailアドレスのご記入がある場合E-mailアドレス宛に、E-mailアドレスのご記入がない場合、
FAX番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。
DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

＜団体又は法人名の場合＞

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、お支払方法ご案内の際お申し出ください。
DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能でございます。

第77回 学術集会DVD-ROMのお申込書

（FAX番号、又はE-mailアドレスのどちらか必ずご記入ください。）　　2013年　　月　　日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属		お支払方法 □銀行振込　□郵便振替 □クレジットカード払い
ご住所（ご送付先）〒　　□ご所属先　□ご自宅		
ご連絡先　TEL：　　FAX：		
E-mail アドレス　　@		
その他通信欄		

＜ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います＞

企画著作　一般社団法人日本循環器学会　　制作販売受託　株式会社メディカルビスタ　日循DVD-ROM事務局
0120-046-844 (9:30-18:30)　FAX: 03-6368-9509
E-mail: jcsdvd@medicalvista.jp

JCS2013

第41回 循環器教育セッション

会場：パシフィコ横浜　日時：2013年3月15～17日

DVD-ROM発売!!

DVD購入者はWEBでもご視聴いただけます。

発行予定 6月20日

価格 5,000円（送料、税込）

購入し研修されると専門医研修単位が 3単位 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります、単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

お申込みはインターネットまたはFAXでもお申込み頂けます。
日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

＜収録内容＞

教育セッションⅠ

ビデオセッション 1
心臓 CT/MRI の最新動向

学会1日目 3月15日（金）8：30～12：40

座長：尾崎 行男（藤田保健衛生大学 循環器内科）
吉岡 邦浩（岩手医科大学 放射線科）

演者：佐久間 肇（三重大学 放射線医学教室）
高瀬 伸一（三重大学 中央放射線部）
安野 泰史（藤田保健衛生大学 放射線科）
元山 貞子（藤田保健衛生大学 循環器内科）

教育セッションⅠ

ビデオセッション 2
閉塞性肥大型心筋症に対する PTSMA

学会1日目 3月15日（金）8：30～12：40

座長：一色 髙明（帝京大学）

演者：高山 守正（榊原記念病院）

教育セッションⅠ

ビデオセッション 3
心房細動アブレーションにおける三次元マッピングの活用

学会1日目 3月15日（金）8：30～12：40

座長：熊谷 浩一郎（福岡山王病院 ハートリズムセンター）
沖重 薫（横浜みなと赤十字病院）

演者：高月 誠司（慶応義塾大学）
土谷 健（EP Expert Team-Tsuchiya）

教育セッションⅡ

冠動脈血行再建術
―診療ガイドラインを実臨床にいかに活かすか？―

学会2日目 3月16日（土）8：30～10：30

座長：落 雅美（日本医科大学 心臓血管外科）
住吉 徹哉（榊原記念病院 循環器内科）

演者：桑原 博道（仁邦法律事務所）
松本 晴樹（厚生労働省保険医療企画調査室）
夜久 均（京都府立医科大学 心臓血管外科）
中川 義久（天理よろづ相談所病院 循環器内科）
浅井 徹（滋賀医科大学 心臓血管外科）
代田 浩之（順天堂大学 循環器内科）

教育セッションⅢ

新しい抗凝固薬の臨床

学会3日目 3月17日（日）13：50～15：50

座長：後藤 信哉（東海大学 循環器内科）
山下 武志（心臓血管研究所付属病院）

演者：後藤 信哉（東海大学 循環器内科）
草野 研吾（岡山大学 循環器内科）
渡邉 英一（藤田保健衛生大学 循環器内学）
高橋 尚彦（大分大学 循環器内科）
庭野 慎一（北里大学 循環器内科）
富田 愛子（東海大学 循環器内科）

●動作環境

※本DVD-ROMはDVD-Videoプレイヤーでは再生できません。

Windows
Intel Pentium 4 2.33GHz 同等以上のプロセッサ
256MB RAM（512MB 以上推奨）
プラットホーム：
Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7
ブラウザ：
Microsoft Internet Explorer 6 以降、Firefox 2.x 以降、AOL 9、Opera9.5 以上、Safari 3.x
1024×768／16 ビットのカラービデオディスプレイアダプタ

Macintosh
PowerPC G4 1.25GHz 以上のプロセッサ
Intel Core Duo 1.33GHz 以上のプロセッサ
256MB RAM（512MB 以上推奨）
プラットホーム：Mac OS X v10.4.x、10.5
ブラウザ：
Firefox 2.x 以降、AOL for Mac OS X、Opera 9.5、Safari 3.x
1024×768／16 ビットのカラービデオディスプレイアダプタ

■お問い合わせ先　株式会社 メディカルビスタ
0120-046-844　FAX：03-6368-9509　Mail：jcsdvd@medicalvista.jp

企画著作：一般社団法人　日本循環器学会
〒100-0011　東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー 18F

制作販売受託：株式会社 メディカルビスタ
〒812-0011　福岡市博多区博多駅前 3-7-35 博多ハイテックビル 5F

第41回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込

価格　1部 ￥5,000（送料、税込）

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ（http://www.j-circ.or.jp）**「刊行物購入のご案内」**から、
又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03(6368)9509**までFAXにてお申込ください。

お支払方法

＜お申込者個人名の場合＞

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。
お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。
ご送付先は、E-Mailアドレスのご記入がある場合E-mailアドレス宛に、E-mailアドレスのご記入がない場合、
FAX番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。
DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

＜団体又は法人名の場合＞

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、お支払方法ご案内の際お申し出ください。
DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能でございます。

第41回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込書

（FAX番号、又はE-mailアドレスのどちらか必ずご記入ください。）　　2013年　　月　　日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属		お支払方法 □銀行振込　□郵便振替 □クレジットカード払い
ご住所（ご送付先）〒　　□ご所属先　□ご自宅		
ご連絡先　TEL：　　FAX：		
E-mail アドレス　　@		
その他通信欄		

＜ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います＞

企画著作　一般社団法人日本循環器学会　　制作販売受託　株式会社メディカルビスタ　日循DVD-ROM事務局
0120-046-844 (9:30-18:30)　FAX: 03-6368-9509
E-mail: jcsdvd@medicalvista.jp

和文論文投稿誌 心臓 のご案内

論文投稿および購読のお願い

2012年４月(第44巻 第４号)より,「心臓」は
日本心臓財団と日本循環器学会の共同発行となりました.
循環器領域の若手研究者を育てる和文投稿を中心に,
最新のトピックスや研究会など,充実した内容をお届けしています.
和文論文をぜひ投稿してください.また,本誌をご購読ください.

「心臓」

発行：公益財団法人日本心臓財団,一般社団法人日本循環器学会

制作：株式会社協和企画　心臓編集室

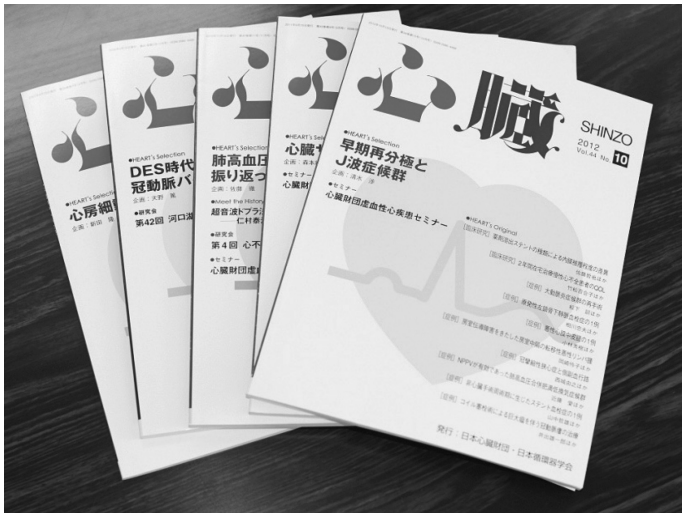
発売：株式会社西村書店

定価：2,100円(本体2,000円＋税)

年間予約購読料(12冊分)　25,200円(本体24,000円,送料は負担いたします)

編集委員会

山口　徹(編集委員長),代田浩之(副編集委員長),磯部光章,小野　稔,加藤貴雄,
木村一雄,倉林正彦,佐地　勉,竹石恭知,百村伸一,山科　章,四津良平



投稿に関するお問い合せ
(株)協和企画「心臓」編集室
電話・FAX：03-3571-3176

購読の申し込み・お問い合わせ
(株)西村書店　担当：岩永
電話：03-3293-9311
FAX：03-3293-9314

事務局からのお知らせ

〈住所／勤務先変更の届出について〉

毎月の「CJ」や各地方会の開催案内，プログラム等を確実にお手許にお届けできるよう，適時，住所／勤務先変更の届出をお願いしております．

ホームページ（http://www.j-circ.or.jp/）より，会員限定ページにて変更登録をお願い致します．または，当会告末尾の「登録事項変更届」をご利用ください．

なお，学会活動や医療情報などに関する重要なお知らせをEメールで発信する機会が増えておりますので，可能な限りEメールアドレスをお届け下さいますようお願い致します．

〈会員限定 HP へのアクセス等について〉

- UMIN（大学病院医療情報ネットワーク）の ID を利用しての会員のみのアクセス制限をしております．
- 新規ご入会の先生につきましては，当学会にて UMINID の取得申請を代行しております．ご入会手続き後に UMINID が取得次第，順次 ID と仮パスワードを郵送致します．
- UMIN メールアドレスにつきましては，各先生方の ID@umin.ac.jp にてご利用いただけます．電子メールソフトの設定の詳細は UMIN ホームページ（http://www.umin.ac.jp/）をご確認ください．

● 学会に関する問い合わせは下記事務局までご連絡下さい．

（一社）日本循環器学会
〒100-0011　東京都千代田区内幸町1-1-1　帝国ホテルタワー18F
※京都事務局は2013年 7 月15日（月）をもって東京事務局に統合されました．

会員の先生方への利便性向上の為，2013年 8 月27日（火）より業務担当ごとに直通電話番号を開設いたしました．どうぞご利用下さい．

各業務担当メールアドレス・電話番号のご案内		
	メールアドレス	電話番号
代　　表	admin@j-circ.or.jp	03-5501-0861
総務（登録事項変更・退会等）	soumu@j-circ.or.jp	
編集（Circulation Journal 関連）	cj@j-circ.or.jp	
情報広報（購読・HP・入会・地方会）	webmaster@j-circ.or.jp	
BLS/ACLS 関連事業	itc@j-circ.or.jp	
国内交流	kokunai@j-circ.or.jp	
学術集会・ガイドライン関連	meeting@j-circ.or.jp	03-5501-0862
国際交流	international@j-circ.or.jp	
経理（各請求書・年会費等）	keiri@j-circ.or.jp	03-5501-0863
専 門 医	senmoni@j-circ.or.jp	
禁　　煙	nonsmoking@j-circ.or.jp	

FAX（業務共通）　　03-5501-9855
ホームページ URL　　http://www.j-circ.or.jp/

一般社団法人　日本循環器学会
TEL (03) 5501-0861
FAX (03) 5501-9855
E-mail: soumu@j-circ.or.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.j-circ.or.jp/

登　録　事　項　変　更　届

[ホームページからもお届けが可能です]

会員番号：　　【6ｹﾀ】	生年月日：19　　年　　月　　日（　　歳）
フリガナ：	
会員氏名： （旧姓名：　　）	
勤務先： 名　称 部・科　　役　職 所在地　〒　　－ 代　表　TEL（　　）　　－　　FAX（　　）　　－ 内線 直　通　TEL（　　）　　－　　FAX（　　）　　－	
旧勤務先名称：	
自　宅：〒　　－ TEL（　　）　　－　　FAX（　　）　　－	
旧自宅住所：	
E-mail：	
変更希望日：　　年　　月　　日　変更	送本先(連絡先)：　□ 勤務先　□ 自宅
英文誌 Circulation Journal の送付を：　□　希望する　□　希望しない	
退　会　届【退会希望者のみ記入】 年　　月　　日をもって退会します。　/　退会事由：	
事務局への通信欄：	

＊ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。

＊重要なお知らせを E-mail でお届けする機会が増えております。ぜひメールアドレスをご登録ください。

学会誌 Circulation Journal の送本について

Circulation Journal は，希望者のみへの送本を実施しております．送本ご不要のお手続きは，以下にて受付けています．

- Fax: 03-5501-9855
- E-mail: soumu@j-circ.or.jp
- 日本循環器学会 HP（会員事務手続）

＊対象は CJ 英文誌のみで，会告，ガイドライン誌，循環器専門医誌は，今まで通り全員に送本されます．
＊CJ 送本不要を申し出られた方のみ，送本を停止します．
＊CJ 送本不要でも，年会費に変更はありません．

※なお，CJ では，全掲載論文を Online Journal（J-STAGE）にて無料公開しております．
http://www.jstage.jst.go.jp/browse/circj

以上

英文誌 Circulation Journal の送本は，不要です．

氏　　名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

会員番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（封筒の宛名ラベル右下に記載の 6 桁の数字）

年　　月　　日

（注）　氏名・会員番号は必ずご記入下さい．